



茨城県

## 茨城県景気ウォッチャー調査

(平成26年6月調査分)

### 《景気の現状判断DI》

	平成26年3月	平成26年6月	前回調査比
茨城県	55.9	<b>46.4</b>	△9.5
県北地域	54.6	<b>43.4</b>	△11.2
県央地域	56.5	<b>43.9</b>	△12.6
鹿行地域	57.0	<b>51.3</b>	△5.7
県南地域	55.9	<b>49.5</b>	△6.4
県西地域	55.6	<b>44.2</b>	△11.4

### 《景気の先行き判断DI》

	平成26年3月	平成26年6月	前回調査比
茨城県	37.1	<b>52.7</b>	+15.6
県北地域	38.9	<b>47.8</b>	+8.9
県央地域	38.9	<b>56.1</b>	+17.2
鹿行地域	34.6	<b>53.9</b>	+19.3
県南地域	37.2	<b>56.0</b>	+18.8
県西地域	36.2	<b>50.0</b>	+13.8

平成26年7月

茨城県企画部統計課

## 目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	(1) 景気の現状判断D I	3
	(2) 景気の先行き判断D I	4
2	地域別の動向	5
	(1) 景気の現状判断D I	5
	(2) 景気の先行き判断D I	8
3	回答率	10
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	21
3	その他の意見	31

問い合わせ先

茨城県統計課庶務・企画分析グループ TEL:029-301-2642

ホームページアドレス

<http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/betu/bukka/watch/index.html>

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

## 2 調査の範囲

### (1)対象地域

県下全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市町村は以下のとおりである。

※平成26年6月1日現在

地域	市 町 村
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、東海村、太子町
県央地域	水戸市、笠間市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、美浦村、阿見町、河内町、利根町
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町

### (2)調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

#### 【地域別・業種別調査客体系数】

業 種 名	具 体 例	県北 地域	県央 地域	鹿行 地域	県南 地域	県西 地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等	37	39	36	37	36	185
企業関連	製造業（食料品、一般機械器具等）、建設業、金融業	19	16	19	18	19	91
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等	4	5	5	5	5	24
	計	60	60	60	60	60	300

## 3 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断（方向性）
- (2) (1) のコメント（理由）
- (3) 景気の先行きに対する判断（方向性）
- (4) (3) のコメント（理由）
- (5) その他景気に関する意見（自由回答）

## 4 調査月及び調査期間

調査月は3月、6月、9月及び12月の年4回である。平成26年6月調査の調査期間は、平成26年6月1日から平成26年6月30日である。

## 5 利用上の注意

- (1) D I (Diffusion Index) は景気の方角性 (景気が上向きか下向きか) をみるものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第 1 位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は 100% とならない場合がある。

### ※DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり 5 段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比 (%) に乗じて、景気の方角性をみるための指標 (D I) を算出している。

回答区分	良くなって いる	やや良くな っている	変わらない	やや悪くな っている	悪くなって いる
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

- 2 具体例  
回答者数 100 名で、回答内訳が以下の場合。

良くなって いる	やや良くな っている	変わらない	やや悪くな っている	悪くなって いる
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は

良くなって いる	やや良くな っている	変わらない	やや悪くな っている	悪くなって いる
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、D I 値は、

$$(1 \text{点} \times 15.0\%) + (0.75 \text{点} \times 27.0\%) + (0.5 \text{点} \times 25.0\%) + (0.25 \text{点} \times 11.0\%) + (0 \text{点} \times 22.0\%) = 50.5 \text{となる。}$$

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は、 $(0.5 \text{点} \times 100\%) = 50$  となることから、50 を上回っているときは、景気は上昇局面にあり、また 50 を下回っているときは、景気の下降局面にあるといえる。

## Ⅱ 調査結果の概要

### 1 全県の動向

#### (1)景気の現状判断DI

景気の現状判断DIは46.4となった。平成26年3月の調査（以下、「前回調査」という。）より9.5ポイント低下し、横ばいを表す50を4期ぶりに下回った。

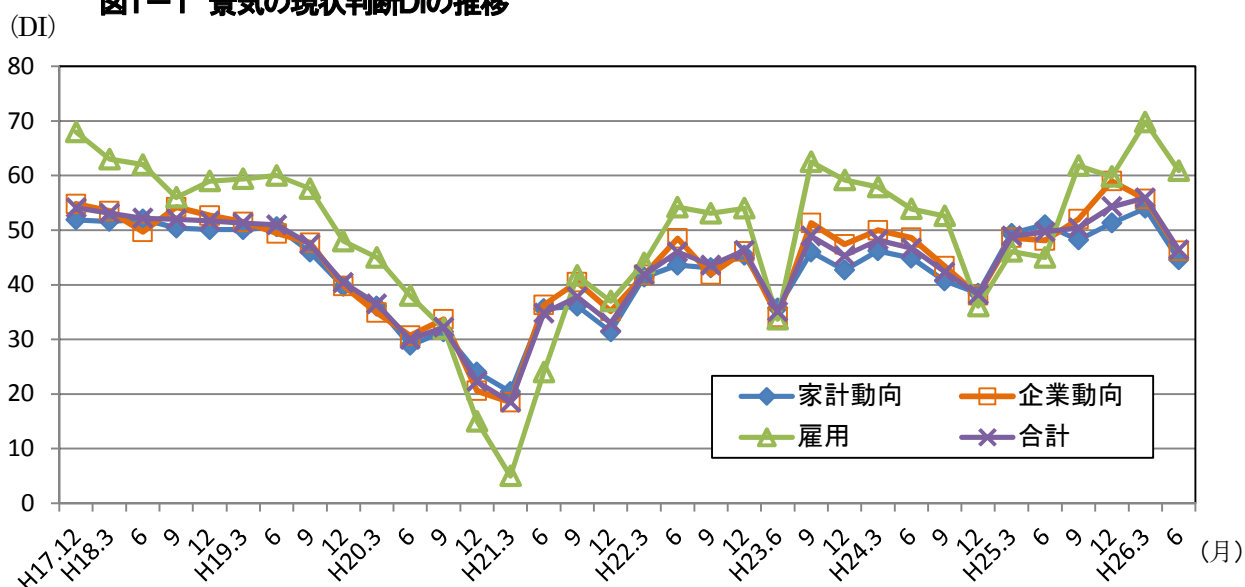
表1-1 景気の現状判断DI

分野	調査年月	平成25年 6月	平成25年 9月	平成25年 12月	平成26年 3月	平成26年 6月
<b>合計</b>		<b>49.7</b>	<b>50.4</b>	<b>54.3</b>	<b>55.9</b>	<b>46.4</b>
<b>家計動向関連</b>		<b>51.0</b>	<b>48.2</b>	<b>51.3</b>	<b>54.0</b>	<b>44.4</b>
小売関連		51.4	46.7	55.0	63.4	43.9
飲食関連		47.6	46.3	42.5	36.8	46.4
サービス関連		50.0	49.3	49.3	49.6	42.7
住宅関連		63.9	55.6	58.3	50.0	58.3
<b>企業動向関連</b>		<b>48.1</b>	<b>52.0</b>	<b>59.0</b>	<b>55.7</b>	<b>46.6</b>
農林水産業		50.0	54.2	50.0	53.6	57.1
製造業		46.3	52.2	56.1	54.4	47.4
非製造業		50.0	51.4	64.8	57.8	43.2
<b>雇用関連</b>		<b>45.0</b>	<b>61.8</b>	<b>59.8</b>	<b>69.8</b>	<b>60.9</b>

表1-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成25年 6月	0.3%	26.6%	49.7%	18.2%	5.2%
平成25年 9月	1.4%	21.3%	59.6%	12.6%	5.1%
平成25年12月	3.6%	32.1%	46.6%	13.4%	4.3%
平成26年 3月	5.9%	34.4%	41.1%	14.4%	4.1%
平成26年 6月	2.1%	23.8%	39.9%	26.2%	8.0%

図1-1 景気の現状判断DIの推移



## (2)景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは52.7となった。前回調査より15.6ポイント上昇し、横ばいを表す50を2期ぶりに上回った。

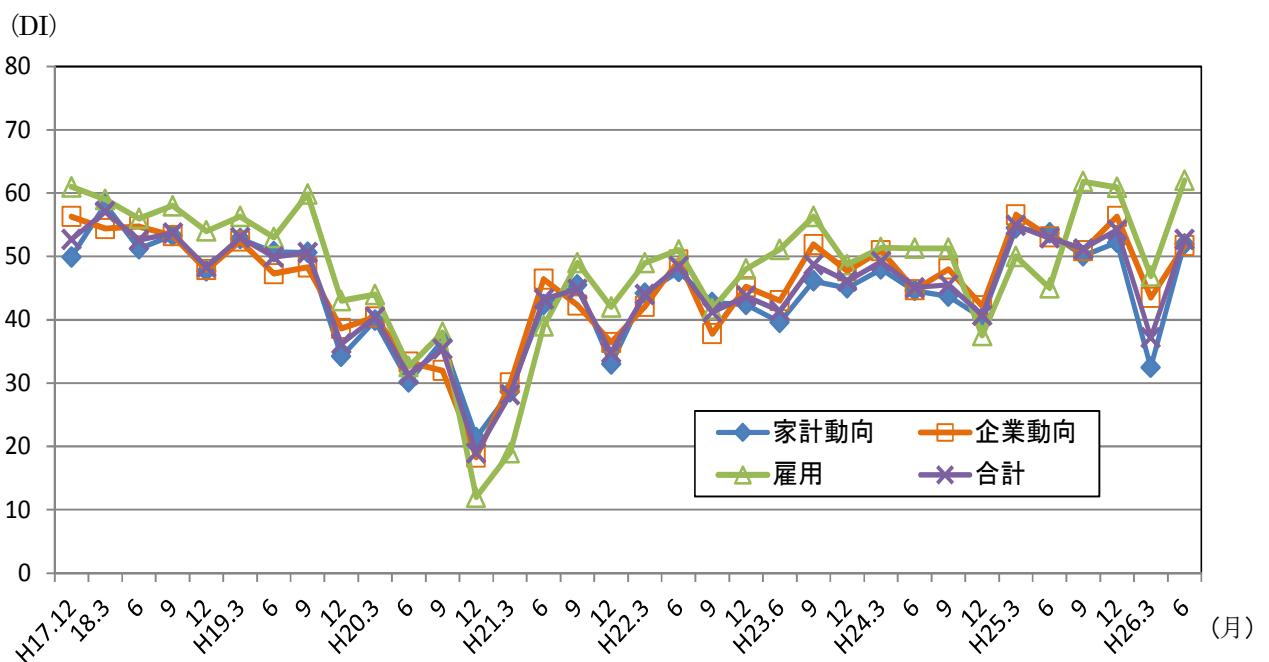
表1-3 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成25年 6月	平成25年 9月	平成25年 12月	平成26年 3月	平成26年 6月
<b>合計</b>		<b>52.9</b>	<b>51.2</b>	<b>54.2</b>	<b>37.1</b>	<b>52.7</b>
<b>家計動向関連</b>		<b>53.7</b>	<b>50.1</b>	<b>52.2</b>	<b>32.4</b>	<b>52.1</b>
小売関連		52.4	50.7	56.8	30.8	53.9
飲食関連		52.4	46.3	42.5	22.4	51.2
サービス関連		53.4	49.7	50.3	36.4	50.0
住宅関連		69.4	58.3	52.8	37.5	58.3
<b>企業動向関連</b>		<b>53.1</b>	<b>50.9</b>	<b>56.3</b>	<b>43.5</b>	<b>51.4</b>
農林水産業		53.6	45.8	50.0	46.4	42.9
製造業		50.5	50.0	53.9	43.9	54.2
非製造業		56.3	52.8	60.9	42.2	49.2
<b>雇用関連</b>		<b>45.0</b>	<b>61.8</b>	<b>60.9</b>	<b>46.9</b>	<b>62.0</b>

表1-4 回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成25年 6月	1.4%	28.3%	53.1%	14.7%	2.4%
平成25年 9月	1.8%	28.9%	46.6%	17.7%	5.1%
平成25年 12月	3.2%	32.5%	44.8%	16.6%	2.9%
平成26年 3月	0.7%	13.3%	32.6%	40.4%	13.0%
平成26年 6月	2.4%	26.9%	52.1%	16.1%	2.4%

図1-2 景気の先行き判断DIの推移



## 2 地域別の動向

### (1)景気の現状判断DI

#### ① 県北地域

景気の現状判断DIは43.4となった。前回調査より11.2ポイント低下し、横ばいを表す50を3期ぶりで下回った。

表2-1 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成25年 6月	平成25年 9月	平成25年 12月	平成26年 3月	平成26年 6月
合計		42.1	47.7	56.4	54.6	43.4
家計動向関連		43.4	42.4	50.7	53.2	40.7
企業動向関連		42.1	55.3	67.6	56.9	45.8
雇用関連		31.3	58.3	56.3	55.0	56.3

表2-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成25年 6月	0.0%	15.8%	50.9%	19.3%	14.0%
平成25年 9月	1.8%	18.2%	58.2%	12.7%	9.1%
平成25年12月	7.3%	30.9%	45.5%	12.7%	3.6%
平成26年 3月	5.6%	37.0%	35.2%	14.8%	7.4%
平成26年 6月	0.0%	19.3%	45.6%	24.6%	10.5%

#### ② 県央地域

景気の現状判断DIは43.9となった。前回調査より12.6ポイント低下し、横ばいを表す50を2期ぶりに下回った。

表2-3 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成25年 6月	平成25年 9月	平成25年 12月	平成26年 3月	平成26年 6月
合計		50.4	52.9	49.6	56.5	43.9
家計動向関連		51.4	51.9	50.7	56.1	39.2
企業動向関連		48.5	51.5	46.9	51.6	46.7
雇用関連		50.0	68.8	50.0	75.0	70.0

表2-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成25年 6月	0.0%	31.0%	41.4%	25.9%	1.7%
平成25年 9月	1.7%	23.3%	61.7%	11.7%	1.7%
平成25年12月	0.0%	26.3%	50.9%	17.5%	5.3%
平成26年 3月	9.3%	35.2%	35.2%	13.0%	7.4%
平成26年 6月	1.8%	21.1%	35.1%	35.1%	7.0%

### ③ 鹿行地域

景気の現状判断DIは51.3となった。前回調査より5.7ポイント低下したものの、横ばいを表す50を3期連続で上回った。

表2-5 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成25年	平成25年	平成25年	平成26年	平成26年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		52.2	46.9	57.7	57.0	51.3
	家計動向関連	53.4	45.9	55.0	54.9	47.8
	企業動向関連	46.9	46.4	63.3	57.8	52.6
	雇用関連	60.0	55.0	60.0	70.0	70.0

表2-6 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成25年 6月	0.0%	31.0%	48.3%	19.0%	1.7%
平成25年 9月	0.0%	10.7%	71.4%	12.5%	5.4%
平成25年12月	3.6%	30.9%	58.2%	7.3%	0.0%
平成26年 3月	3.5%	38.6%	40.4%	17.5%	0.0%
平成26年 6月	3.4%	31.0%	37.9%	22.4%	5.2%

### ④ 県南地域

景気の現状判断DIは49.5となった。前回調査より6.4ポイント低下し、横ばいを表す50を6期ぶりに下回った。

表2-7 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成25年	平成25年	平成25年	平成26年	平成26年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		50.5	53.9	60.1	55.9	49.5
	家計動向関連	52.2	53.3	56.5	55.4	52.3
	企業動向関連	48.6	52.8	66.2	53.3	42.6
	雇用関連	41.7	66.7	62.5	68.8	56.3

表2-8 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成25年 6月	0.0%	23.6%	58.2%	14.5%	3.6%
平成25年 9月	3.9%	27.5%	52.9%	11.8%	3.9%
平成25年12月	5.8%	42.3%	40.4%	9.6%	1.9%
平成26年 3月	6.4%	25.5%	55.3%	10.6%	2.1%
平成26年 6月	3.7%	27.8%	40.7%	18.5%	9.3%



⑤ 県西地域

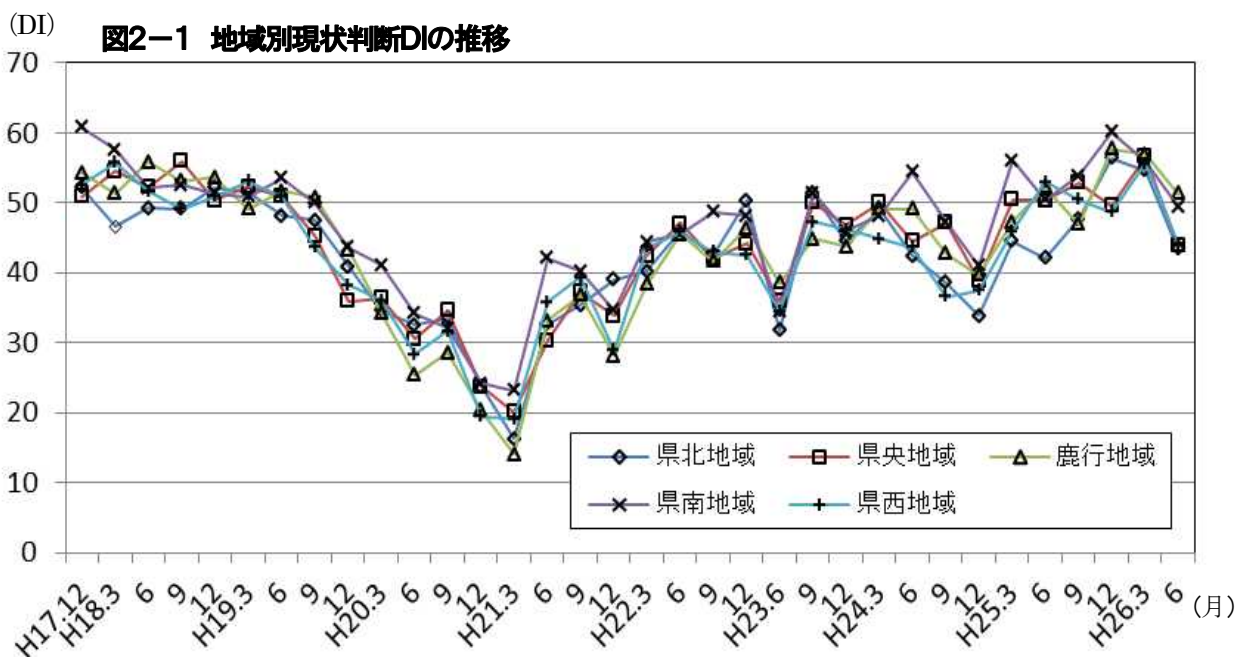
景気の現状判断DIは44.2となった。前回調査より11.4ポイント低下し、横ばいを表す50を2期ぶりに下回った。

表2-9 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成25年	平成25年	平成25年	平成26年	平成26年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		53.0	50.5	48.7	55.6	44.2
家計動向関連		54.4	47.7	44.3	50.7	43.1
企業動向関連		53.8	52.6	51.4	57.9	44.7
雇用関連		37.5	62.5	70.0	80.0	50.0

表2-10 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成25年 6月	1.7%	31.0%	50.0%	12.1%	5.2%
平成25年 9月	0.0%	27.3%	52.7%	14.5%	5.5%
平成25年12月	1.7%	31.0%	37.9%	19.0%	10.3%
平成26年 3月	5.2%	34.5%	41.4%	15.5%	3.4%
平成26年 6月	1.7%	20.0%	40.0%	30.0%	8.3%



## (2)景気の先行き判断DI

### ① 県北地域

3か月先の景気の先行き判断DIは47.8となった。前回調査より8.9ポイント上昇したが、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

表2-11 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成25年	平成25年	平成25年	平成26年	平成26年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		54.4	50.0	50.9	38.9	47.8
	家計動向関連	55.1	46.2	45.6	31.5	46.4
	企業動向関連	59.2	55.3	58.8	51.4	48.6
	雇用関連	25.0	58.3	62.5	40.0	56.3

表2-12 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成25年 6月	0.0%	36.8%	49.1%	8.8%	5.3%
平成25年 9月	1.8%	27.3%	49.1%	12.7%	9.1%
平成25年12月	1.8%	36.4%	30.9%	25.5%	5.5%
平成26年 3月	3.7%	13.0%	37.0%	27.8%	18.5%
平成26年 6月	0.0%	21.1%	54.4%	19.3%	5.3%

### ② 県央地域

3か月先の景気の先行き判断DIは56.1となった。前回調査より17.2ポイント上昇し、横ばいを表す50を2期ぶりに上回った。

表2-13 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成25年	平成25年	平成25年	平成26年	平成26年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		53.9	50.8	54.8	38.9	56.1
	家計動向関連	54.7	51.9	56.3	33.3	55.4
	企業動向関連	51.5	47.1	51.6	46.9	55.0
	雇用関連	56.3	56.3	55.0	50.0	65.0

表2-14 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成25年 6月	3.4%	27.6%	51.7%	15.5%	1.7%
平成25年 9月	1.7%	23.3%	56.7%	13.3%	5.0%
平成25年12月	1.8%	28.1%	57.9%	12.3%	0.0%
平成26年 3月	0.0%	20.4%	22.2%	50.0%	7.4%
平成26年 6月	3.5%	31.6%	50.9%	14.0%	0.0%

### ③ 鹿行地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは53.9となった。前回調査より19.3ポイント上昇し、横ばいを表す50を2期ぶりに上回った。

表2-15 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成25年	平成25年	平成25年	平成26年	平成26年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		51.3	51.3	55.5	34.6	53.9
	家計動向関連	53.4	48.6	54.3	31.9	55.1
	企業動向関連	46.9	55.4	56.7	35.9	50.0
	雇用関連	50.0	60.0	60.0	50.0	60.0

表2-16 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成25年 6月	0.0%	24.1%	58.6%	15.5%	1.7%
平成25年 9月	0.0%	32.1%	44.6%	19.6%	3.6%
平成25年12月	3.6%	36.4%	40.0%	18.2%	1.8%
平成26年 3月	0.0%	8.8%	35.1%	42.1%	14.0%
平成26年 6月	5.2%	25.9%	48.3%	20.7%	0.0%

### ④ 県南地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは56.0となった。前回調査より18.8ポイント上昇し、横ばいを表す50を2期ぶりに上回った。

表2-17 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成25年	平成25年	平成25年	平成26年	平成26年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		53.2	50.5	55.3	37.2	56.0
	家計動向関連	52.2	51.7	54.0	35.7	56.8
	企業動向関連	56.9	47.2	58.8	35.0	54.4
	雇用関連	41.7	58.3	50.0	56.3	56.3

表2-18 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成25年 6月	1.8%	25.5%	56.4%	16.4%	0.0%
平成25年 9月	2.0%	33.3%	33.3%	27.5%	3.9%
平成25年12月	1.9%	34.6%	48.1%	13.5%	1.9%
平成26年 3月	0.0%	12.8%	31.9%	46.8%	8.5%
平成26年 6月	1.9%	31.5%	55.6%	11.1%	0.0%

### ⑤ 県西地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは、前回調査より13.8ポイント上昇し、横ばいを表す50となった。

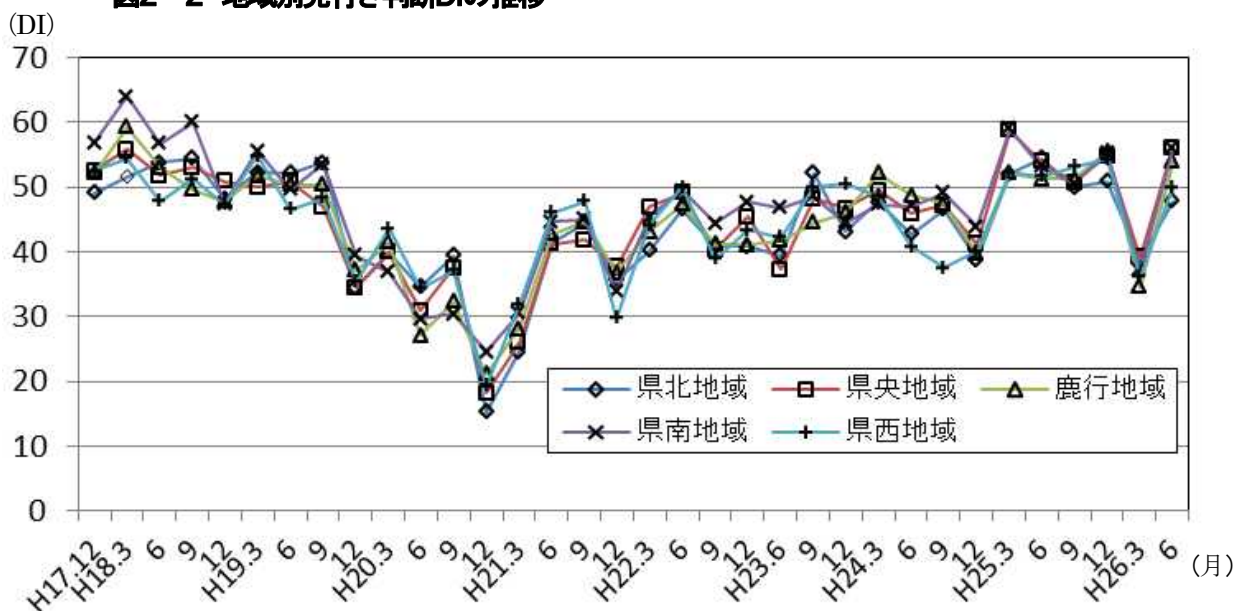
表2-19 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成25年	平成25年	平成25年	平成26年	平成26年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		51.7	53.2	54.3	36.2	50.0
家計動向関連		52.9	52.3	50.7	30.1	47.2
企業動向関連		50.0	50.0	55.6	46.1	50.0
雇用関連		50.0	75.0	75.0	40.0	70.0

表2-20 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成25年 6月	1.7%	27.6%	50.0%	17.2%	3.4%
平成25年 9月	3.6%	29.1%	47.3%	16.4%	3.6%
平成25年12月	6.9%	27.6%	46.6%	13.8%	5.2%
平成26年 3月	0.0%	12.1%	36.2%	36.2%	15.5%
平成26年 6月	1.7%	25.0%	51.7%	15.0%	6.7%

図2-2 地域別先行き判断DIの推移



### 3 回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	286 人	95.3%
県北地域	60 人	57 人	95.0%
県央地域	60 人	57 人	95.0%
鹿行地域	60 人	58 人	96.7%
県南地域	60 人	54 人	90.0%
県西地域	60 人	60 人	100.0%

### Ⅲ 景気の判断コメント — 1 景気の現状判断コメント

#### (1) 県北地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	-	-	-	
やや良くなっている	家計	スーパー	毎月の売上げ・客数が少し伸びた。	
		コンビニエンスストア	ゴールデンウィーク後はやや落ち込んだが、5月末においては売上げは良くなってきており、消費税増税の影響も薄らいでいる様子。	
		小売業（弁当・惣菜店）	この数ヶ月は天気にも恵まれたので、売上げはまずまずだった。それにも増して、景気は悪くないといった空気が漂っている。	
		中国料理	消費税増税も落ち着き、家計からの外食費も元に戻ってきているように思います。一人単価も上がってきているように思うので、景気はやや良くなっていると思います。	
		食堂	営業38年で、20年前までは、運送業・バス会社関係の方が多くて、手伝いの人も頑張って12時頃まで営業しましたが、今は時代の流れで企業関係のコンペなどの利用が多くなり、なんとか生き残っています。今は娘の関係で、ファンの方々が遠方から来てくださるので、また前の様に頑張っています。	
		ゴルフ場	4～6月の各一日時点の予約ペースは、月ごとに回復しつつある。4月-13ポイント、5月-6ポイント、6月は+7ポイントに転じている。 1～3月の全体の予約ペースは84ポイントで、4～6月は82まで回復。 引き続き、天候不良による予約辞退は大きく、前年4・5月比186%と増加。	
	企業	林業関係者	消費税8%が導入されたが、市場材価の変動もそれほど下落もなく推移したので、やや良くなっていると感じる。	
		製造業（電気機械器具）	製造部門は国内外の受注が伸びてきている。社内の生産性も繁忙期である。個人の収入も横這い若しくは増えている。	
		製造業（精密機器）	金型の受注が増えているので、開発品が多くなっている。ということは、量産があるということで見通しも良くなっている。	
		情報通信業（情報サービス業）	年度始めて仕事量は減っているが、例年に比べ商談数・受注とも増えているので、景気はやや良くなっていると思う。	
	雇用	公共職業安定所	求人（人を求めている）は増加傾向にあり、逆に求職者（仕事を求めている人）は対前年同月比で減少していることから、景気はやや良くなっていると思われる。	
	変わらない	家計	スーパー	客数、客単価に変化なく、売上げも前年並み（100%オーバー）。
			コンビニエンスストア	日本全体と比較して、県北地域の雇用は非常に厳しい状況。店舗の来店客数は増えているが、客単価は減少傾向にあり、余計なモノを買わない傾向は強い。
			小売業（燃料）	燃料油販売量は横ばい、その他の商品も大きな変化はない。
小売業（水産物）			売上げが横ばいです。	
小売業（時計）			地方への景気上昇は数か月～半年位なので、現在は未だ影響はこないでしょう。	
レストラン			売り上げも変わらないので、変化がないと思っている。	
スナック			ゴルフや接待が減ってると思う。	
観光型ホテル			前年度の売上や来場者数を対比しますと、昨年11月から良くて横ばい状態。ただ、懸念されていた消費税の増税の問題で、影響はさほどなかったかと思われます。	
旅行代理店			対前年売上が、横ばい状況のまま。	
タクシー運転手			営収からみても、現状維持が精一杯だと思われる。	
タクシー運転手			4月より消費税の増税があり、また、茨城県ではタクシー料金の値上げがあった。しかし、幸いなことに、当地区では思った程の影響は出ませんでした。やはり、モータリゼーション等で最小限になってしまった顧客は、必要最低限はタクシーを使わざるを得ないということか。	
ドライブイン			増税前の買い込みが大きかったが、増税後は昨対と変わらないです（税込売上）。	
ゴルフ場			会社業績が変わらないと言うお客様が多い。	
ゴルフ場			来場者が、急激に増えるような傾向は無く、来場時に使う金銭も以前と変わらない印象。	
住宅販売会社		増税の影響は思ったほど出てきていない。かといって良くなっている訳ではない。		
企業		製造業（電気機械器具）	売上比を3か月前と比較。2.4%の減なのであまり変わらない。	
		製造業（電気機械器具）	3か月前と比較し、特に変化が見られない。	

変 わ ら な い	企業	製造業（電気機械器具）	受注状況、売上げ状況があまり変化ない。
		製造業（一般機械器具）	製造現場の作業量に大きな増減もなく、来場されるお客様の様子も普段と変わりがない。
		建設業	見積依頼は横ばいで、今のところ前向きな話もあまり聞かないので変わらない。
		運輸業	消費税増税に伴う駆け込み需要が一服した反面、震災復興、東京オリンピック、太陽光発電関連の貨物の引き合いが出てきている。
		不動産業	消費税増税直後であり、景気（顧客の購入意欲）は上昇していない。
雇 用	求人広告	決して良いというわけではないが、消費税が上がり、もっと仕事が減少すると予想していた中でそこまでの落ち込みは感じられず、業種によっては忙しいという声もはいつている。	
	学校就業関係者	離職者に対する職業訓練の応募者に変化が見られないため。	
	求人開拓員	<b>仕事が忙しいと言っている業種としては、土木・建築業や介護施設等で、県北地域の工場では景気上昇と言い切る会社は少ない。</b>	
や や 悪 く な っ て い る	家計	商店街代表者	消費税増税による商品購入マインドの低下。
		商店街代表者	新年度に入ってから、消費税アップの駆け込み需要等の反動からか、電話の本数・問い合わせがめっきり減ってきている。
		スーパー	消費税増税後の価格に対する関心は間違いなくある。商品の差別化を図れた企業は伸びているが、平均的な企業は伸び悩んでいる。
		衣料品販売店	来客数の減少。
		農産物直売所	人の動きが悪いように感じる。一人当たりの購買額が少なくなっている。
		小売業（酒類）	消費税値上げによる仮需要があり、4～5月と売り上げの落ち込みが大きかった。
		観光型ホテル	前年同期と比較して、平日の空室が増加している。また、客単価も下がっている。
		レジャー施設	4月からの消費税率引上げの影響か、お客様の買い控えが見受けられる。
		ボウリング場	消費税の影響なのか、売上が減っている。
企 業	水産業関係者	所得アップや消費税なども含む物価上昇のバランスが不安定に感じる。	
	製造業（電気機械器具）	忙しかったのは3月までで、4月以降は作業量が2～3割減った。スマートフォンの液晶関連、自動車関連、鉄道関連は堅調である。原子力関連が少し増えてきたようである。	
	製造業（電気機械器具）	6月の受注量が、4・5月に比べても減少傾向である。	
	製造業（輸送用機械器具）	国内の新車販売は、消費税増税を睨んだ駆け込み需要により、3月は記録的な伸びとなった。この反動を受け、4月は大幅な落ち込みとなったが、5月は軽自動車を中心に盛り返しており、増税による落ち込み影響は軽微になるものと予想されている。一方、北米・中国市場は好調を維持しているが、従来通り地産地消により大きなインパクトはなく、全体としてやや悪くなっていると感じる。	
	金融業	日立製作所グループと三菱工業グループとの一部統合以来、下請け業者への受注見通しが不明確な状況が続いている。閉鎖や規模を縮小する工場も増加傾向にある。	
悪 く な っ て い る	家計	自動車販売店	<b>消費税増税の実施により、駆け込み需要のピークを迎えた3か月前から比べると、かなりの落ち込みである。</b> マスコミにあおられた形で、増税前に…と購買意欲をそそられ消費した結果だと思う。
		居酒屋	客が少なくなった。
		タクシー運転手	現金による運行が多い。待機時間が増えている気がする。
		タクシー運転手	売上げが下がっている。
		クリーニング店	4月以後、消費税の変更のためか、客数とも売上とも減少している。
企 業	製造業（電気機械器具）	売上高大きく減少（直近3か月）。	

## (2) 県央地域 【現状】

(ー：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	割烹料理店	農業関係のお客が多く、この時期、田植えや玉ねぎの収穫などで農家さんが動くので、私の店にも食事やお酒を飲みに来られるようになります。
やや良くなる	家計	レストラン	企業の宴会場を利用した歓送迎会の件数が増加した（3～4月）。
		旅行代理店	<b>4月の消費税UPの影響で先行受注が悪化したものの、7月以降の受注が前年同期比を上回ってきている。</b>
		スーパー銭湯	2月の大雪による影響は、サービス業にとっては大変に大きく、様々な業種の営業担当に面談する折にも話が出てきて、暗いイメージが漂っていた後に、消費税引き上げの報道が繰り返され、財布のひもは閉ざされていった。3か月前と比較して、現在は消費税引き上げにも庶民は慣れてきて、少し財布のひもが緩んできているように思われます。
		レジャー施設	海洋レジャー業界であるため、秋冬より春夏に動きがあるのは当然ですが、過去5年間の同時期では一番動きがあるように感じます。
		住宅販売会社	<b>集客数が持ち直してきている。</b>
	企業	製造業（印刷・同関連業）	4月は増税の影響か売上が減少したが、5月は前年をクリアできた。
		製造業（一般機械器具）	本当にやや良くなっているという程度。悪くならなければ良い。全体的に仕事の切れ目がなくなってきた。
		サービス業（コンサルタント業）	仕事の受注が増えた。
	雇用	人材派遣業	徐々にではあるが、受注が増えてきている。
		求人広告	人材採用が困難になってきている。求職者数が減っている気がする。
学校就業関係者		<b>雇用の改善により求人倍率も上昇しており、その影響で消費も増加傾向になると思う。</b>	
求人開拓員		「4月から消費税がUPし、家計に対する負担が増加するので早く就職したい」と思う求職者と、業界にもよるが景気回復基調からの求人募集も多かったので、景気はやや良くなっている。	
変わらない	家計	スーパー	増税後、供給は4月より回復してきてはいるが、価格が高い物（通常価格）では商品の利用がない。特売の時に、買いだめ・節約しているようだ。
		スーパー	消費税が8%に上がったことで少し落ち込んだが、戻ってきているようだ。
		コンビニエンスストア	商品の売れ行きは、税金が増税された後の一時的な落ち込みはあったが、現状はその前の水準に戻っている。
		農産物直売所	ギフト商品、高額商品、飲食利用の実績が平年と同じである。
		都市型ホテル	受注状況を見ても、さほど変化が見られない。
		観光型ホテル	団体客の動きは出てきているように思えるが、個人客については少し弱含みである。
		タクシー運転手	今月は梅雨の時期であり、3か月前と比べて雨による売上げが増加した。しかし、このところの燃料費の高騰もあり、3か月前の前年比と今月の前年比を比べると、今月の方がやや低調である。
		タクシー会社	タクシー業界は、消費税が5%から8%に変更になったことに伴い運賃改定を実施しましたが、3か月前と運賃等を比較して3～6%の伸びを示しています。消費税が3%上昇したことを考慮し、変化なしと判断していますが、乗客数は多少減少傾向にあります。
		ドライブイン	お客様のお買い物（お土産）に関して、日帰り旅行のお客様が多いように思われます。（自宅用にと購入され）客単価も低いのが現状です。
		レジャー施設	消費税率改正の影響が出るか心配したが、今のところ、特に大きな影響は感じられない。しかし、入場者の伸びもなく、売上の変化も感じられないため、景気が良くなっているとは思えない。
ゴルフ場	当方の感じとしては、乗客数に伸びが見られない。お客様からプレー費に関する問い合わせが多くなってきている。お客様には来場してもらいたいとのこともあり、ある程度相談に応じるようになってきているため、客単価の低下が避けられない。		
企業	農業関係者	4月からの消費税引き上げに対応して、春に使う農業資材については、3月に事前調達を実施しており、コストの軽減を行っている。農作物の生育状況も、2月の大雪被害が多少あるが、全体的には順調である。	
	製造業（食料品）	<b>消費税増税による悪化が予想されたが、特に大きな変化は見られない。</b>	
	製造業（印刷・同関連業）	受注量が減少している。	
	製造業（窯業・土石製品）	消費税の増税により、4・5月は多少落ち込みがあったが、戻りつつある。	
	製造業（金属製品）	増税の駆け込み需要のピークを過ぎた3か月前～現在まで、やや落ち着いてはいるが、想定していたほどの反動もなく、一定の水準の仕事量は確保できている。	
	建設業	個々の気持ちに前向き変化を感じるが、依然警戒心・慎重さがある。	

変わらない	企業	金融業	消費税増税の影響は、想定していたより少ないが、景気が良くなっている材料も無いことから、3か月前と比べ変化はないと感じられる。
	企業	情報通信業（情報サービス業）	業績により異なるが、顧客との業況話題では、確かに回復の様相が感じられる。しかし、投資に関しては引き続き慎重な姿勢が継続しており、また、市場は動いても、利ざやの確保が厳しく、本来の景気回復基調とは思えない。
	雇用	公共職業安定所	有効求人倍率は3月と比べ低下しており、これは例年見られる傾向である。対前年同月比でみた場合、増加で推移しているものの、増加幅は3月に比べ低下している状況である。有効求職者は減少しており、減少幅は3月に比べ増加している。
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	3月は消費税増税の駆け込み需要があった。
		商店街代表者	2月3月の駆け込み需要の反動で、5月以降、受注量も減り来店客の数も減り大変厳しい状態です。4月は年度初めの繁忙期で例年と同等であったが、5月以降の個人の冷え込みがあり、売上30%位の減で2011年（震災年の6月）よりも落ち込んでいます。
		百貨店、総合スーパー	3か月前（3月）は、消費税増税前の駆け込み需要により売り上げは増加した。しかし、それは全国的なことであり、3か月前の客単価と今月の客単価を比べると、今月の方が減少しているので、景気はやや悪くなっている。
		百貨店、総合スーパー	増税後という事を除いては言えないのであるが…、3月の増税前のまとめ買い、高額品の購入があり、反動が続いている。買い物も慎重になっている。もう少し時間がかかりそうである。
		スーパー	消費税増税以降、外食などに対する消費の冷え込みが特に厳しい。一般客の節約志向強い。
		スーパー	3か月前は消費税増税前の特需があった。
		スーパー	<b>衣料品、装飾品を中心に消費税増税による買い控え感が残っている。</b>
		コンビニエンスストア	一番の理由は消費税増税です。買いすぎには注意する、という声が増えたように感じます。
		家電販売店	消費税が上がってからは、買い替えは少なく修理して使う人が多くなり、どうしてもという場合以外は買わない。
		レストラン	4月以降、来館者数が減少している。
		レストラン	<b>消費税増税により外食を控えている感じがする。税額表示、内税外税についても、細かく注意している様子が見られる。</b>
		都市型ホテル	総会シーズンに入っているが、前年と比べ、件数、人数も減少しており、開催しないところもある。
		旅行会社	消費税が8%に上がり、旅行に行く人が減った。
		タクシー運転手	会社での一日の乗車回数は、前月と比べ10～12回少ないです。運転手一人当たりの一日の売上げも2～3千円少ないです。消費税増税の影響かと思われます。また、年金暮らしの人にとっては、660円から730円になり（消費税とは関係なく）、また、その上に距離が短くてもメーターが上昇するのは、低所得者切り捨ての値上がりだと思います。
		タクシー会社	売上げが落ちている。
観光名所	3月の駆け込み需要の反動のせい、4～6月は観光地へ向かおうとする意欲はあるものの、購買意欲は抑え気味の傾向にある。消費税増税の影響というよりも、駆け込み需要で消費した分を抑えようとする意識が強いのではないかと。		
企業	建築設計事務所	建築単価が3割程度上がっている。発注タイミングを見ている状況と思われる。	
	製造業（食料品）	増税感が身にしみてわかるようになり、買いまわり品が減っている。	
	運輸業（道路貨物運送業）	消費税増税後の新年度に入ってから荷動きが、思ったより悪くなっている。	
	サービス業（広告業）	GW以降から、販促チラシやツールなど、発注が減少した。6月に入っても宣伝活動は活発になっていない。	
悪くなっている	家計	自動車販売店	新車の受注台数が、前年比80%と落ち込んでいる。3年前の震災時、全メーカーの生産がストップし、今初回の車検を迎える時期のはずが、台数がほとんど存在しない。
		理・美容店	5月は暇であった。今年前半で最低な月であった。考えられる理由が思い当たらない。
		理・美容店	前年より売上げ、単価、動員、新規が下がっている。
企業	製造業（精密機械器具）	3か月前は、年度決算の企業が多く、弊社のお客様も同様です。予算に関係した当月受注・当月出荷が、昨年度と比較して増加しました。売上商品の傾向は、研究開発型から現場の品質管理の大型の商品へシフトしています。	



## (3) 鹿行地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	観光名所	コメント
良	家計	コンビニエンスストア	消費税増税後、懸念されていたタバコなどの買いだめのあった分類は低迷していたが、より上質な新商品などの販売は好調です。質の良いものへの購買意欲などは大きいと思われます。
		農産物直売所	売上げはもちろん、客数・客単価も上がっており、景気はやや良くなっている。
やや良くなっている	家計	スーパー	一品単価が少しずつ上がってきた。客数も少しずつ増えてきた。
		スーパー	<b>消費税アップ後、落ち込んでいた販売点数が前年並みに上がってきた。</b>
		家電販売店	消費税増税後の回復が数値で出てきてます。
		洋食食堂	客数、売上げともアップしている。ランチ時は、(当店の席数は50くらいだが)満席になる時間帯が多くなってきている(夜の集客がもう一つではあるが…)。
		ドライブイン	行楽シーズンに加え、今年のGWは近場の行楽地に出かける人が多かったと思います。
		ゴルフ場	予約推移が早くなった。
		住宅販売会社	ようやく土地が動き始めた。来店数も少しずつだが戻りは始めている。
	企業	農業関係者	野菜等の販売金額が昨年より伸びている。また、作柄も良かったが、メロン等の嗜好品が昨年度より単価が高い。
		製造業(食料品)	4月からの消費税増税があり、いく度もの原材料の値上げもあり販売価格を上げたが、予想していたより販売個数も落ち込みは少なく、イベント等へ積極的に参加して売上げ減少を抑えるようにした。結果は前年度よりも、僅かながら伸びが見えた。消費税増税に関しては、お客様の意識は浸透していたように感じた。
		製造業(食料品)	4月からの消費税アップ後も売行き好調持続。
		製造業(鉄鋼業)	<b>高いレベルの生産が続いており、業績に反映されている。</b>
		製造業(金属製品)	製造業(めっき業)の受注が拡大している。特に内需拡大(建築業界)が見られる。中小企業に対し、就労者がいない。65歳(昭和23年生まれ)の方々が昨年退職され、各企業内の人員減少が労働改善につながっている。
		不動産業	企業の定期検査期間、また、数年に一度の大規模定修の為、飲食居酒屋等非常に忙しいようです。6月末日頃までか。
サービス業		自動車、機械メーカーなど特定製造業所からの依頼が増加。北関東自動車道など、営業ルート上の高速道路も、走行車両の増加が認められる。	
雇用	人材派遣業	派遣業として、人が募集に応じてくれなくては仕事にならない。最近各企業ともに人員不足の状況で、ハローワーク・ネット募集で色々と手を尽くしているものの、応募者が厳しい。更に、応募しても決定に至るまでなかなか結論がでない(応募者の条件が高め)。この背景にあるのは、各企業ともに正社員の募集が最近目立つことが要因と思われる。	
	民間職業紹介業	<b>最近、職種を問わず企業からの求人申し込みが増加傾向にあります。</b>	
	公共職業安定所	企業によっては消費税アップの反動もあるが、全体的には仕事量、受注量は増加していると思われる。ただ、利益率は悪いという声も聞く。	
	学校就職関係者	ハローワークを通しての離職者訓練において、受講希望者が少なくなっている。求人状況が良いことから考えられる。	
変わらない	家計	コンビニエンスストア	客単価、買い上げ点数に大きな変化はなく、消費税増税後の消費行動にも(タバコ以外は)変化は感じない。
		衣料品販売店	増税後、大きな落ち込みはなかった。が、周りで景気が回復しているとは聞こえてこない。客数が増えてきていないため、今後もしばらくは期待出来ないと考えている。
		小売業(酒類)	順調に予約などの引き合いがあるため、若干は上向きだが(増税前の売れ行きが過剰であったが、順調にきていて落ち着いた感がある)、変動はないようである。
		精肉店	消費税増税後ですが、消費者はさほど気にすることなく買い物をしている。
		和食レストラン	売上げ横ばい。
		観光型ホテル	4月以降料金の変更を行ったが、例年と変わらないくらいの売上げである。
		タクシー運転手	<b>乗客の会話等では、消費税上昇等での日常生活の負担から引締め感がある。</b>
		タクシー運転手	相変わらず夜が動かない。動いても初乗り料金での顧客が目立つ。また、定修時期にも関わらず悪い。
		レジャー施設	消費税率のアップが行われた一方において、周辺の勤労者の所得の上昇は感じられない。
		理・美容店	増税の影響を感じます。増税という名の値上げの料金改定が、増税分を上回っているんじゃないかと。支払いに負担を感じています。
		理・美容店	増税後もあまり大きな変化はなく、やや横ばいな感じがする。
クリーニング店	増税から3か月も経つので慣れてきた。4月、5月はやはり動きが悪かったが、6月に入ってくると慣れてきたようです。		
住宅販売会社	お客様の来場者数にも増減はない。		

変 わ ら な い	企業	製造業（食料品）	一部大手の企業では景気上昇と言われてますが、末端の零細（弱小）企業では、まだまだ届きません。現状では維持しています。
		製造業（食料品）	当地域の消費動向は悪く、変わらない。商店街の来客数は少ない。
		製造業（化学工業）	原燃材料値上がり分の価格転嫁がなかなか進まず、利益的に厳しい状況が続いている。
		運輸業（倉庫業）	消費税が上がリ、影響が出ると思われたが、貨物の動きに変化は見られない。生産に関しては、3月までに集中して行ったようだ。4月以降、生産調整をしている荷主もある。
		金融業	上場企業を中心とする大手企業の株価・決算内容等を見る限りでは、景気の上昇基調が窺え、従業員に対し給与や賞与等で還元される話題を聞くが、当組合の取引先である中小零細企業や個人等に関しては、逆に取引先より厳しい条件を提示されている業種もあり、景気上昇の影響はほとんどなく、3か月前と比較して景気は変わっていないと感じる。
		内装工事業	ここ最近、特に少子高齢化が加速しているように強く感じています。やはり、人口の増加が景気を左右するのではないのでしょうか。地域を見ても、子供の遊ぶ声など聞いたことがありません。子供がいなくなれば、町は過疎化がさらに進み、地域が崩壊し景気どころじゃなくなる。
		火力発電所	当社の商品（電力）の販売量に変化が見られない。
雇用	就職支援センター	景気が良くなっているのは、大都会の一部の大企業の話であり、地元の中小企業の景気が良くなっているという話は聞かないので、3か月前と景気は変わらないと思う。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	小売業（菓子販売店）	3か月前は、前年に比べやや良くなったが、今月は対前年比で変わらずだったので、3か月前よりは悪い。
		小売業（食品）	原料・資材値上げのため、製品の値上げを行っている。そのせいか、売上げが落ちている。
		小売業（書店）	世界規模のイベントがある月は、当社のような業種は影響を受けやすい。4月からの増税の部分も売上げ減につながっている。
		割烹料理店	接待の会食が、予約としてなかなか入らず、予約が入ったとしても、料理の予算が下がる一方で、客単価が一向に上がらない。
		日本料理店	増税と値上げがありましたが、まわりで賃金が上がったところがほぼなかったの、必要消費が増えた分、飲食の使う割合が減ったのでは。
		タクシー運転手	今回は、季節的要因（コンビナートの定期修理）もあって、売上増が期待出来るところでしたが、消費税アップの影響もあってか、個人の利用客も減って売り上げが落ち込んでいる。
		スーパー銭湯	入館対象者の70～80%がシルバー世代としているため、残念ながら自然減が考えられ、このような施設の抱える問題として、若年層の取り込みが難しいことがある。
企業	製造業（電気機械器具）	3か月前の3月は、前年秋からの受注増と、消費税増税の駆け込み需要でフル稼働であったが、4月以降やや落ち着いた感がある。	
	建設業	新年度と共に消費税増税となり、景気の低迷を感じます。	
	建設業	消費税増税前に受注が多かった。増税後は受注件数が落ち込む。	
	運輸業（道路貨物運送業）	新年度になり変わらなく行く、と期待も込め予想していたが、周囲の予想通りになってしまった。	
	保険業	公共工事、個人住宅建設が減少してきている。	
悪 く な っ て い る	家計	商店街代表者	<b>増税前の駆け込み需要の反動があり、大変厳しい状況にある。高額商品になればなるほど、落ちこみが激しい。</b>
		小売業（薬品店）	増税により4～5月は売上げが2～3割落ち込んでいる。
		タクシー運転手	この地区は、本来ならば定期修理工事区間に当たり、大幅増収を見込んだが、消費税増税に伴い客足が極端に悪い。

## (4) 県南地域 【現状】

(一：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	スーパー	生鮮部門が特に好調で、昨年の売上げ実績を大きく上回ることができた。先月、増税による売上げの落ちこみがあったが、今月はその反動で売上げが回復。
	雇用	求人開拓員	私は求人開拓員で、事務所訪問して求人をお願いをしているが、最近では、いばらき就職支援センターのホームページを見て、先方から求人を申し込んできたり、来所したりする数が相当に増えた。
やや良くなっている	家計	スーパー	消費税の増税により、4月は買い上げ点数及び客単価が落ち込んだものの、5・6月と買い上げ点数、客単価がアップしているの、やや景気が良くなっていると言える。
		コンビニエンスストア	価格の高い商品であっても、商品価値を認めていただければ購入へと繋がる。増税による買い控えも、今はあまり感じない。
		家電販売店	販売品目数が上昇している。
		農産物直売所	当店につきましては、前年対比売上げは伸びているのですが、お客様の数は減っている。ということは、単価が上がっていても買っていき、ということでしょうか。
		小売業（生花店）	新規開店や事業所移転祝いなどのギフト需要が多くなってきており、不動産の売買が盛んになっている様子が見える。
		ガソリンスタンド	業種によってそうでないところもあるが、一般的に良くなってきていると話すお客様が多い（ただし、4月は消費税の影響で業績が思うように達成できなかったお客様もいるようです）。
		タクシー運転手	お客様が8%の税率に慣れたのか、買いだめしてあったものが底を尽きたのか、買い物に利用されるお客様が増えた。
		タクシー運転手	タクシーチケット（弊社独自で取引先に発行）の利用回数が多くなってきている。
	ゴルフ場	コンペのパーティー代などの単価が上がっている。	
	企業	建築設計事務所	いずれの事務所も忙しそうにしている。
		住宅販売会社	<b>4月以降、土地に動きが出てきた。</b>
		製造業（家具・装備品）	仕事としてはあまり変わりませんが、受注品が高額のものが多くなってきたように感じます。
		製造業（窯業・土石製品）	民間の設備投資も増えてきている。
	雇用	求人広告	建設業
変わらない	家計	スーパー	3月は、特需の影響で売上げは上がったが、相対的には変化はないように思われる。
		スーパー	消費税増税をしても、単価は106%と伸びたが、買い上げ点数では95%、売上高は前年比で102.3%でした。
		コンビニエンスストア	価値を感じる商品・サービスに対しての対価は支払うが、そうでない商品・サービスへは購買動向の変化を感じない。
		和食食堂	消費税が上がったが、前年比は変わらない。警戒している感を感じることもある。
		都市型ホテル	現在ホテルを取り巻く環境としては、法人需要は少し経費も抑え気味か、単価も安く、相見積りのケースもある。消費税率も変わり、個人需要は当初抑え気味であったが、さすがにGW以降は戻りつつあった。これらの理由から変わらないと思います。
		都市型ホテル	消費税UPのため、多少悪くなるかと思われたが、今のところ単価ダウン等はなく変化はない。
		旅行代理店	シーズンの、お客様の利用数はやや増えているように思えますが、売上の的には景気が良くなっているとは考えにくい。
		タクシー運転手	タクシーの売上げが横ばいのままでいっこうに上がってこない。
		タクシー運転手	夜に乗るお客様が全然増えないことと、長距離がここ半年で全然なくなっている。
		タクシー会社	注文の電話が少なくなっている。消費税が上がった分、消費者は3%分支出を減らそうとしている。
		タクシー運転手	消費税8%UPの反動がまだ残っており、景気の上昇傾向まではいかない。また、年金の落ち込み幅も大きく財布のひもは固い。
		レジャー施設	3か月前に比べて平均購買単価が変わらない。
		理・美容店	消費税が上がっても、それほどの変化はありません。テレビなどでは景気が少しずつ良くなると言いますが、気になるほどではないです。
	企業	農業関係者	<b>消費税増税で購買関係が前倒しになった分、購買の伸長は良くない。</b>
製造業（食料品）		消費税が増税されましたが、今のところ影響が感じられなく、客数、客単価もさほど変わらない。	
製造業（飲料）		良くなった、悪くなったの話が出ない。	

変わらない	企業	製造業（窯業・土石製品）	当社は、公共事業に関する事業を主に行っているので消費税増税の影響はありませんが、季節的要因として、年度初めの工事発注は少ないですが、昨年同期よりは良い結果で推移しております。
		製造業（非鉄金属）	消費税増税の影響は限定的であり、景況感は悪くない。
		製造業（一般機械器具）	特徴的な動きがない。
		建設業	あくまでも周囲の業界団体からの情報からです。また、5月30日の茨城県内団体の総会には、県南・県西・県北の経営者の多くと懇談した。口を揃えて「仕事がない、民間工事が出ないね。官庁工事は一部の業者しか取れない。数が少ないから足で稼ぐ営業も少なくなった。会社周辺の環境整備の一環として草刈をしながら、しばらく景気の動向を判断していきます。」と言う。
		金融業	全体的に特段の変化はない。新規事業所等の進出もなく、不動産の売買、設備資金需要等も依然として少ない状況にある。
雇用	人材派遣業	一時的に良くなってきた感はあったが、その後変わった（上昇した）感じは無い。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	3か月前は、増税前の特需と思われる客数増・売上げ増があり、逆に、今月は雨の影響もあって大きく客数を落としている。前年比ベースで3月では客数で-3%、売上げで-5%となっている。
		小売業（食品・酒類）	消費税増税の影響があったとしても、注文が減っており、売り上げも減少していることは否めない。
		洋食食堂	年金で暮らしているお客様が多く、ランチの時間帯が年齢的に合っていて、ディナーには出かけていくことはほとんど無いと言っています。現役組の来店が少なく、たまの接待も予算があるので、人数が昨年より限定（トップまたはそれに近い方）になっている。単価は変わらず10,000円くらいです。
		寿司店	3月までの売上げは、まあまあ、いつもの予測通りでしたが、4月から消費税3%アップして8%となり、お客様の財布のひもが固くなり、売上げが落ちました。
		ゴルフ場	当倶楽部では、プレー日の1週間前までに組み合わせを依頼するが、最近はなかなか決まらない組が多くなっている。同伴プレーヤー探しも大変なことということか。
		パチンコ店	消費税増税からリピーターの客足が悪い。特に、土日祭日における客足が平日と変わらないため、景気が悪いと思う。客の顔色が良くない。
悪くなっている	企業	製造業（食料品）	消費税増税、円安による輸入物価の上昇等により、原料価格が上昇している。それに伴って商品価格を上げるのはなかなか難しい。その値上げ分だけ利益は減っている。
		製造業（印刷業）	<b>来客数の減少、及び客単価の減少を感じる。</b>
		建設業	今月は3か月前と比べると、年度初めなので毎年公共工事が減るのは当然である。しかし、今年は今まで以上に少ない。民間工事も消費税増税の影響なのか、前年と比べると、今月は受注が少ないので景気はやや悪くなっている。
		不動産業	特に、26年4月以降の取引について、消費税アップ後の買い控え等の精神的な影響が出ている。建築関係等の総額の張るものの影響がある。
悪くなっている	家計	専門スーパー	駆け込み需要の反動で、消耗品を中心に売上が悪い。
		ボウリング場	レジャー費が抑えられているのでは？消費税UP後の通常生活の金の流れを見てから、レジャー出費がされるようになるのかと期待しています。
	企業	建設業（設備工事業）	取引先からの見積依頼や相談が少ない。
		運輸業（倉庫業）	昨年度予測の通り、4月からの消費税アップによる影響が出ている。各メーカー製造量も減少している。必要最低限のサプライチェーンマネジメントでの流通状況である。
	雇用	学校就職関係者	消耗品等の購入のため買い物に行くと、客数がかなり減少しており閑散としている。

## (5) 県西地域 【現状】

(一：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	和食食堂	ご来店、配達共に増えている。
やや良くなっている	家計	スーパー	(石下店は) 4月、5月、6月と少しずつ営業状況は良くなってきています。6月で言えば、客数・売上げ共に前年比110%となっております。
		コンビニエンスストア	タバコは、増税後一旦販売数が落ちたが、現在は回復しているだけでなく他の商品もよく売れており、特に単価の高い商品の動きがよくなっていて、消費の落ち込みは感じられません。
		農産物直売所	消費税増税の影響もなく、来店者・客単価も安定しているため、売上げも順調である。
		ビジネスホテル	消費税の影響もあまりなく、周辺での公共工事や企業の設備投資などが続いている。そのため、人の動きも活発である。
		旅行代理店	仕事が少し増えたように感じる。ただ、物価は上昇したように思う。やはり、増税プラス便乗値上げが目立ちます。
		タクシー運転手	今まであまり人の来ない会社にも、人の出入りが多くなった感じがする。
		ゴルフ場	天候によるものかもしれないが、予約及び商品の購買意識が高まっているような気がします。消費税率による影響などはあまり感じられない。
	企業	農業関係者	預金の残高がプラスのまま推移している。
		製造業(食料品)	工場の製造高が好調に推移している。また、高級品が売れている。
		製造業(化学工業)	エレクトロニクス部材関連、自動車部品関連顧客からの受注が増えている。
		製造業(電気機械器具)	受注量が増加傾向にあり、職場によっては、人員体制の見直し(増員)が必要となっている。
	雇用	人材派遣業	以前より求人が多く、忙しい。
	変わらない	家計	スーパー
コンビニエンスストア			買われ方に大きな変化は見られない。ただ、以前と比べると買われ方がシビアになってきている。
自動車販売店			<b>3月までの駆け込みの影響がまだ残っており、特に高級車が売れない状況にあります。</b>
専門スーパー			売上げ、客数、点数に大きな変化がない。
製茶販売			増税前に駆け込みで買われた方などは、まだ在庫があるみたいで買いにいらしていません。わたしの財布はいつも空っぽです。節約しても追いつきません。
日本料理店			予約・来店客数・客単価が上がリません。宴会や商談などが減っているようです。
飲食業			依頼日が6月上旬なので、あくまで予想比較です。
ゴルフ場			予約状況にて。
レジャー施設			当施設利用者数が増加することもなく、横ばい状態である。また、ご利用金額もあまり変わらず、逆に減少傾向にある。
理・美容店			消費税増税の影響を受けるかと思ったが、客数、売り上げともに変わらない。
建築設計事務所			忙しくはなってきたが、景気の良さに結びつくお金にはまだなっていない。
住宅販売会社		集客数は下げ止まった感があるが、まだ増税の影響か、動きが鈍い。	
企業		農業関係者	以前と変わらず。
	製造業(食料品)	売上自体は、多少の変動はあると思うが、横ばいではないかと予想する。売上が多少上向いても、仕入れ値が確実に上昇しているので、利益は変わらないと思う。	
	製造業(印刷・同関連業)	4月の消費税アップにより、地方そして零細企業は、受注は減少し厳しい数字が4月・5月の売上げに表れた。アベノミクスのムードで3月までは推移し、25年度の決算はまあまあの結果だが、3%プラスになった消費税の影響が、26年度にこれからどう出るか心配でならない。	
	製造業(印刷・同関連業)	消費税増税で消費が冷え込むと思っていたが、案外回転寿司や牛丼屋の客の入りなどは変わらず、落ち込んでいないように感じる。	
	建設業	消費税増税・人不足の影響	
	電気工事業	仕事が無い。	
雇用	公共職業安定所	4月新規求人数は1,042人、2月新規求人数1,094人と4.8%減少。産業別で見ると、製造業で4月238人、2月229人で3.8%増。運輸23.8%増。卸売・小売業31.6%増となっている。全体として減少しているが、季節的要因のため変わりはない現状である。	
	学校就職関係者	<b>消費税率引き上げ直後は落ち込みが見られたが、現在は徐々に持ち直してきていると感じる。</b>	
	求人开拓員	従来出ている同じ求人が出ている。	

やや悪くなっている	家計	商店街代表者	売上が極端にダウンしてきた。
		和食食堂	毎年のことであるが、梅雨の時期で客足が鈍る月であり、消費税の影響もあり。また、原材料の高騰で3か月前と比べ、今の方が低調なのでやや悪くなっている。
		都市型ホテル	やはり4月の増税の影響でしょうか。3%アップだけでも、お客様にとっては高くなったと感じられるようで、ひとりひとりの来店頻度は減少している傾向があります。
		タクシー会社	4月より消費税8%になり、タクシー利用客（特に現金）の利用度が減少傾向にある。
		タクシー運転手	駅から乗車するお客様のタクシー利用が減ってきている。また、深夜のお客様も減少している。
		ドライブイン	増税の影響か、客単価が伸びていない。客数もやや減少している。
		ドライブイン	消費税増税による買い控え等は感じられないが、客単価的にはやや減少しており、身近な景気はやや落ち込んでいると感じる。
		ゲームセンター	GW期間は好調でしたが、その前後は以前と変わらず前年の売上を超えていない。
		理・美容店	<b>消費税8%になったことで、来店サイクルが長くなったように思われる。</b>
		クリーニング店	消費税が8%になってから、買い物を減らしていると思います。
悪くなっている	企業	製造業（印刷・同関連業）	3か月前の3月は年度末。しかも消費税増税を控えた時期とも関連するが、それと比較すれば、実感としては「やや悪く」より「悪い」に近いかもしれない。ほぼすべての業種について、良い感じは聞けない。今重要なのは、消費者心理の上昇と思うが、それが低調といわざるを得ない。
		製造業（窯業・土石製品）	<b>3月までは、消費税増税前の需要とお彼岸の需要があったが、その分減っている。</b>
		製造業（金属製品）	3か月前は、年度末の時期ということもあってか、駆け込み的な受注品があったが、現在はそれも一段落した感がある。夏以降の見通しは、やや不透明である。
		製造業（一般機械器具）	自動車関係の会社は仕事が薄い。図面が書けなければ仕事は増えない。一人、図面が書ける人を入れたが売上げは減っている。
		金融業	<b>3月までの増税前の駆け込み需要の反動で、建設業・設備業種・自動車関連業を中心に、受注・売上げ減少が見受けられる。</b>
雇用	求人広告	各クライアントの採用活動が終息したとの話がある。飲食店や小売企業などからは売上低下も耳にするので、実感としてそのように感じる。	
悪くなっている	家計	商店街代表者	3か月前は増税前であり、まだ良かったと思われます。今月（6月）は、大変な暑さで天候が定まらず、商売には不利と思われます。本当に必要な物しか物販は厳しいでしょう。
		衣料品販売店	5月以降、売上が大きく低下（昨年度対比ベース）している。暑さがひどくなり、一時売上が上がったが、その時だけ。
		家電販売店	増税の3%は大きく、即決が少なく買い回りが増えた。
		和食レストラン	消費税増税の影響を、ここにきて強く感じている。4月当初はあまり感じなかったが、だんだんと客数が減少し、外食控えになっているよう。特に平日ランチタイムの客数減少が目立っている。
	企業	製造業（窯業・土石製品）	前回調査の時は超忙しく、お客様に振り回され、仕事の依頼が当社の生産力より多く、頭が痛い状況でしたが、現在はまったく正反対で、どうしたら仕事を取れるかではなく、それ以上の取り込む方法を毎日毎日考えております。これは消費税増税前の先食いの反動です。

### Ⅲ 景気の判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

#### (1) 県北地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	-	-	-
やや良くなっている	家計	商店街代表者	夏以降の工事に対する見積等の問い合わせが活発になっている。
		コンビニエンスストア	冷夏の子報が心配ではあるが、全体としては、このままやや良くなっていくと思われる。
		小売業（弁当・惣菜店）	景気は悪くない、という空気感が続くと考えている。
		小売業（時計）	間違いなく少しは良くなっているでしょう。ボーナスのわずかな上昇でも、気持ち的にお金は使ってみたくなるものです。
		中国料理	9月はたいした行事もないためか、売上げが落ちるのは毎年のことなのですが、消費税、会社の統合なども落ち着き、景気も少しは良くなってほしいです。
		ドライブイン	例年7月より、6月の方が売上げが良いが、今年の梅雨入りの早さに客足が伸びない。3か月後に期待したいです。
		ゴルフ場	7～9月の予約ペースは、対前年を100として98%のペースで動いている。消費税の影響がオーバー気味に予見されたが、企業努力と一般市況の明るさを求める「気」が動きだし、少しずつよくなっている。経済成長論議が盛んになり、人手不足が現実となり、健康管理の大事さが認識されつつある。
企業	製造業（電気機械器具）	取引先案件（フォーキャスト情報）が増加している。	
	製造業（電気機械器具）	今後も生産が伸びる傾向。残業等も増える見込み。収入も幾分増える見込み。	
	製造業（精密機器）	金型が増えているので、将来量産が増えるということは、来年も良くなると思う。	
	不動産業	消費税増税について慣れてくることと、更なる増税を意識した動きが見られるものと思う。	
雇用	公共職業安定所	求人の内訳を見ると、正社員よりもパートタイムの伸びが顕著であることから先行きは不透明であるものの、人を求める傾向が高まっていることから景気はやや良くなると思う。	
変わらない	家計	商店街代表者	総体的に景気回復の傾向かと思えます。
		スーパー	店は、消費税・景気によってあまり左右されない。
		コンビニエンスストア	日立市内でシェアの高い、日製関連は厳しい状況が変わらないので、大きな変化はないと思われる。
		自動車販売店	世間でいうほどの景気の上昇も感じられない中で、増税後の生活も落ち着き、消費者も冷静になってきている。必要以上の消費活動は見られない。
		小売業（燃料）	燃料の価格が上がっているため、節約志向がしばらく続くと思われる。
		小売業（酒類）	近隣の多くの事業所等、良くなる明るい見通しの話が聞かれない。
		小売業（水産物）	お客様の一人当たりの購買単価が伸び悩む日々が続いている。
		レストラン	お客様の声からして大きな変化はないと考える。
		スナック	無駄を省き、現状維持しているのがやっとなりに見える。
		食堂	お客様の客単価が500円くらいに減り、その分赤字で月20万位は、みんなのため負担している。今より悪くならないと思います。これ以上は悪くならないと思います。タバコも買えない方もいます。
		観光型ホテル	特に我々県北の観光業は、当面は厳しい期間が続くのではないかとと思われる。
		観光型ホテル	宿泊、日帰り予約、共に前年同期とほぼ同じ予約状況であり、景気はあまり変わらない。
		タクシー運転手	一部大手電機メーカーなどの賞与等は上向きに転じていると聞きますが、末端まではまだ届かないような感があります。
		タクシー運転手	勤務する会社の顧客は、大手の工場関係が多いのですが、短期間での景気の展望は現状を維持できる話が多く、タクシー利用も減少しないと思った。
		レジャー施設	身の回りに、景気が上向き要因がほとんど見られない。
		ゴルフ場	3月までは増税前の特需感があつたが、4月は増税後の冷え込み感を受けた気がすると皆様が話していた。
		ゴルフ場	来場者や、売上を大きく変化させるような要因は見当たらない。
		ボウリング場	一般客（若い年齢層）の方が増えない。
		住宅販売会社	来場者数は徐々に持ち直してきている。良い方向に動くのも、もうしばらくの辛抱か。
		企業	林業関係者
製造業（電気機械器具）	当面、現状が継続する。		
製造業（電気機械器具）	良くなる見込みも、悪くなる見込みもないため。		

変わらない	企業	製造業（一般機械器具）	今後3か月先の作業量は既に決まっているので変わらないと判断するが、その先の3か月後は、消費税増や原油価格の上昇などの影響があるものと思う。
		製造業（輸送用機械器具）	国内は、徐々に回復傾向にあると想定されるが、各社共に過去の実績を下回る計画となっている。ハイブリッドも含めた普通車の落ち込み分を、軽自動車ですぐに盛り返せるかがポイントと想定される。
		建設業	3か月先も同様と思われる。積極的な話はあまり聞かない。
		運輸業	来年の消費税の駆け込み需要がまた出るかもしれないので。
		情報通信業（情報サービス業）	<b>商談数は増えているものの、増税の影響もあり受注量は変わらないと思う。</b>
雇用	求人広告	業種によって良い悪いがはっきりしているので、トータルでは変わらないと思われる。	
	学校就業関係者	特に景気が良いまたは悪い等の話を聞かないため。	
	求人開拓員	人材募集が大手メーカーであります。派遣・請負等で対応しているため、まだまだ時間がかかるようだ。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	点単価の上昇と点数の下落が見られる日がある。
		スーパー	冷夏予想は別として、夏に売れるカツオが質・量とも不安定。長雨により、これからの桃などの品質に不安あり。スーパーマーケットとしては、売る商品に苦労する。
		衣料品販売店	まだまだ衣料品は良くなるとは思えない。（金を使うとすれば、生活必需品の方かな）
		農産物直売所	一人当たりの消費額が少ない。観光などレジャーに出かけるが、お金がかからない所へ行き、1日遊んでこられるところへ集中するようです。太子地区は観光なので、客足が伸びない。
		旅行代理店	旅行業においては、貸切バスの新運賃制度導入により大幅なバス運賃の上昇が見込まれ、バス旅行離れが懸念される。
		タクシー運転手	<b>消費税が8%になったことに伴い、連休中の外出や外食などを控えるようになると思う。</b>
企業	水産業関係者	根本的な対策でもない限り、景気が上向くのは困難に感じる。	
	製造業（電気機械器具）	先行き景気がプラスになる要因が見当たらないため。	
	製造業（電気機械器具）	主要製品のモデルチェンジ等により、使用量が減少される。	
	製造業（精密機器）	8月は休みが多いので、いつもあまり良くない。	
	金融業	日立製作所関連の従業員は、特に住宅購入を控えている様子。地元企業の接待等も激減しており、更に地域の活気がなくなっている。	
悪	家計	居酒屋	宴会がない。
		タクシー運転手	税金やその他がたくさん上がるが、給料が上がらない。
		クリーニング店	以前の梅雨と比べても、雨の日が多く、売上げにマイナスが生じているし、客足も減少している。



## (2) 県央地域 【先行き】

(ー：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	自動車販売店	3年前の7月より、メーカーの生産がほぼ正常に戻り、車検台数が通常に戻る。消費税の反落に戻る。
	企業	製造業(金属製品)	5月下旬頃から引合いが急激に増え、現在までの数週間で約3か月分の受注があった。まだ引合いは旺盛で、受けきれないほど仕事が増えてきた。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	思っていたより、消費税UPによる買い控えも少なく、駆け込み需要による落ち込みも解消されてきているように感じる。
		百貨店、総合スーパー	増税のまとめ買い等も落ち着き、欲しい物を購入しはじめると思う。値札の見方も慣れてくれば、もっと動きが良くなると思われる。
		レストラン	業種により様々だが、料理の単価が高くなってきたり、7～8月の新規の利用も少し増えてきている。
		都市型ホテル	消費税増税も落ち着き、客足も戻ると思う。
		観光型ホテル	消費税増税の影響が一段落すれば、個人旅行も元に戻ると思う。
		旅行代理店	Q2と同回答(4月の消費税UPの影響で先行受注が悪化したものの、7月以降の受注が前年同期比を上回ってきている。)
		タクシー会社	消費税増税に伴うタクシーの新運賃も認知されてくると思うので、消費への抵抗感が和らいでくる事に期待します。そうなれば、客単価は上がっていくので増収につながる。
		レジャー施設	今年の夏が猛暑か冷夏かにも関係するが、例年並みの天候であれば、現在の予約状況や問い合わせなどから考えると、若干良くなるように思われる。
		ゴルフ場	例年のことだが、シーズンに入り予約数に若干ではあるが、伸びが見られるようになってきている。
		住宅販売会社	住まい給付金等、増税対策が効いているのか、想定したほどの落ちこみはない。
企業	製造業(窯業・土石製品)	墓石を中心に国産材の需要が増加してきている。	
	製造業(精密機械器具)	弊社の景気のサイクルは、ほかの業種からみて、半年から1年程度遅れて表面化してきます。よって、その市場の動きを期待して、2のやや良くなっているとしました。	
	建設業	良き変化を求めようとする前向き思考が表面に表れてきた。	
	情報通信業(情報サービス業)	業態や地域により、景況感格差が一層拡大してくるものと思われる。顧客からは、景気の先行きに慎重な意見も出ているが、決算状況の好転が、市場活性化による景気回復基調に繋がることを期待したい。	
	サービス業(コンサルタント業)	先々の受注(予約)が入っている。	
雇用	人材派遣業	このまま受注増が見込まれる。	
	求人広告	求人募集企業が緩やかだが増えている。	
	求人開拓員	国の景気対策・各小売店の消費税対策(ポイントの増加等)に力が入っていますので、思ったよりも下がらないように思う。夏のボーナスで消費も伸びれば回復するのでは…。	
変わらない	家計	商店街代表者	3か月先の予測が立ちません。売り上げが落ち込んでも来店が減っても、いろいろな販促企画を立てて、来店客や売り上げを回復してきたが、今は何をしたらよいか、なかなか企画がわからない状態です。
		百貨店、総合スーパー	増税後の客単価に大きな変化が見られないことから、今後の景気に大きな変化は見られないと判断した。
		スーパー	夏の県内の観光需要など含めてどこまで盛り上がるか?が課題。消費税からの節約志向はしばらく継続してしまいそう。
		スーパー	買い渋りはこのまま続くと予想されます。今月より開始した夏ギフト(お中元)の利用も、前年(同時期)と比較しても80%の利用率。
		スーパー	ガソリン等が高くなっているため、食料品への支出が抑えられる傾向がある。景気はなかなか良くならないと思う。
		スーパー	増税後の買い控えも先月後半で終了し、前年数値と同等まで回復した。天候次第となるが、変わらないと思う。
		スーパー	秋頃まで消費税増税の影響が残るのではないかとと思われる。
		コンビニエンスストア	大きな外的要因がないと思われるため、景気は変化しないと考えられる。
		家電販売店	売り出しのチラシを持っていても、今は買うものが無いと言われてしまう。
		農産物直売所	消費税UP後も、商品の売れ行きは平年並みで推移しており、今後も横ばいとみる。
		レストラン	予約状況、内容等から見ると、まだまだ良くなる様子が見られない。
割烹料理店	農業関係は少し落ち着くとは思いますが、夏季ということもあり、冷たい飲み物を飲みに来て下さるお客様に期待したいです。		

変 わ ら な い	家計	都市型ホテル	現在の予約状況を見ても、今後大きく伸びるのは難しい。3か月の短期間での回復は無理だと思う。
		旅行会社	ツアーやバスなどの予約があまり入っていない。
		タクシー運転手	これから暑くなる時季で、客の動きもやや鈍くなるが、それは毎年のことである。時間単価や移益率は横ばいと予想される事から、変わらないと判断したい。
		タクシー会社	現状は変化なしの状況ですが、乗客数の減少が気になるところです。また、夜間の飲食店からのタクシー依頼が減少傾向にある中で、昼間の一般客の利用が増加しています。遊興費を削減する傾向にあり、公的利用は伸びていることから、一般消費は減少傾向、公的消費は多少伸びがあるものと判断します。
		スパ・銭湯	県外からのお客様も多い当館にとって、高速道路のETC割引が6月29日で廃止になることは、夏休みに向けて県外からのお客様の流入減少を大変危惧するところです。また、エルニーニョ現象の影響による冷夏の報道もあり、暑い夏は当館にとって多くの来館者につながってきていましたので、安・近・短の行楽に期待して、現状の景気での推移を願うところです。
		レジャー施設	少なくとも悪くはならないと思います。
		理・美容店	3か月後に限らず、当店は毎年統計的にあまり変わらない様な気がします。
		理・美容店	世の中の景気が良くなったにせよ、これから先も良くなるとは限らないので、預金をする傾向になると思う。
	企業	建築設計事務所	建築単価が下がる要素が見つからない。現状維持と思う。
		農業関係者	秋の収穫が始まる時期であり、今後の気象条件に左右される。特に今のところ懸念されることはない。
製造業（印刷・同関連業）		良くなる気配が感じられない。	
製造業（一般機械器具）		このままいけばよし。	
運輸業（道路貨物運送業）		<b>企業は、相変わらず一層のコスト削減を進めている。</b>	
雇用	金融業	建設業については動きだした感はあるが、その他の小売業（中小企業）等の業況をみると、特段の変化が見受けられないことや、客足が大手量販店に偏っていることから変わらないと思われる。	
	公共職業安定所	例年9月は有効求人数の増加、有効求職者の減少がみられ、有効求人倍率は改善すると見込まれるが、消費税増税の影響や非正規労働者の求人増等により、着実な景気改善が見込める状況にない。	
やや 悪 く な っ て い る	家計	学校就業関係者	消費税の増税もあった影響もあり、ボーナスの増額も報道であるところだが、プラスマイナスゼロで現状と変わらないと思う。
		コンビニエンスストア	エルニーニョの影響が出て冷夏となった場合は、夏物商品、行楽需要等が下がるのではないのでしょうか。
		タクシー運転手	タクシーの初乗りは約10%値上がりしました。今までより70円ほどの値上がりです。千波から駅までは、150円から200円程です。たかがそれ位の値上げと思われるかもしれませんが、大企業の社員様ならともかく、低所得者の人たちにとっては、タクシーで移動するよりはバスで、と思うでしょう。値上がり分ですらに到着するのですから、このような理由で景気が良くなるはずがないです。
		ドライブイン	借楽園の花のない時期ですので、客足の遠のく時。
企業	観光名所	政府の「景気は緩やかに回復」とあるが、一部の大手や首都圏の企業の話であり、地方の中小企業は依然厳しい状況にある。大手が夏の商戦にあの手この手を使って勝負を仕掛けるのに対して、中小企業がそれに対抗できる体力を持ち合わせていない。	
	製造業（食料品）	原材料の値上げや、ガソリン価格の高騰、高速道路の割引率の変更・廃止などの影響が懸念される。	
	製造業（食料品）	引き続き増税が消費を減退させる。	
	製造業（印刷・同関連業）	好景気になる明るい材料が見えてこない。	
悪	サービス業（広告業）	「企業がお金を使わない」この一言に尽きる。	
	-	-	-

(3) 鹿行地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	家計	家電販売店	夏は、エルニーニョの影響が多少予想されますが、秋には戻り、家電販売は良くなると予想。	
		農産物直売所	ここ数ヶ月、消費税の増税後の4月を除いて、昨年より売上げ等が伸びており、今後も順調に良くなると判断する。	
	企業	製造業（電気機械器具）	増税後の落ち込みは、7月には解消される見込みであり、また、新規受注が増える見込みとなっている。中国からの回帰の動きもあるが、海外移管も止まってはいるので、内需型の生産以外はやや厳しい。	
やや良くなっている	家計	商店街代表者	消費税増税の影響は一段落すると思われ、平年並みの状況に戻ると考える。	
		スーパー	客数と客単価が上がってきている。	
		スーパー	単価がアップした分、販売点数が前年と同じくらいに上がれば良くなる。食品の質の良いこだわり品→これからギフトの時期→スタートが良い	
		コンビニエンスストア	盛夏に向かって客足も伸びる時期です。一方で、エルニーニョ現象の影響も予見されています。客単価・粗利率も改善傾向なので、接客でもって買い上げ点数を上げ、客単価のさらなる伸長を進めることが可能と考えられます。	
		小売業（酒類）	増税の影響も落ち着いて、中元商戦～お盆商戦といった最大のイベントを控え、需要は期待出来ると感じます。	
		小売業（薬品店）	増税前のまとめ買いや、買い控えも落ち着いてくると思う。	
		洋食食堂	4月の消費税増税後の売上げの伸びが心配されたが、4月・5月と増税分以上の売上げを確保している。このままの状況が続くと思える。	
	企業	製造業（食料品）	現状よりは景気回復されると思う。希望的観測。	
		製造業（食料品）	現在並みの販売数量持続見込み。	
		製造業（鉄鋼業）	今後も生産がフルの状態が続くので、良くなっていくと思われる。	
		製造業（金属製品）	夏秋向商品の注文が多くなった（景気は大企業中心であるが、良いと思える）。	
		建設業	希望的にはもっともっと上昇してほしいですが…。受注量に見合った利益が得られないように思えます。	
	雇用	民間職業紹介業	当地域の企業の活動状況から考えると、求人数は増えるものと思われまます。	
公共職業安定所		消費税率アップの影響も収まってくると思われ、円安の中、輸入原価の圧迫はあるものの、全体的にはやや良くなっていくと思われる。		
変わらない	家計	衣料品販売店	増税後、大きな落ち込みはなかった。が、周りで景気が回復しているとは聞こえてこない。客数が増えてきていないため、今後しばらくは期待出来ないと考えている。	
		小売業（菓子販売店）	多分、今月が対前年比で変わらないので、同じようなもの考える。	
		精肉店	我々の業種は、これから夏場に向けて肉の消費が出てくることを期待している。	
		小売業（書店）	イベント終了後は持ち直すと思う。が、しかし、マイナス分が回復するのみと思われるため、変わらないと思う。	
		和食レストラン	消費税増税で慎重になっている。	
		割烹料理店	消費税が上がったものの、客単価は以前と変わらず、税率が上がった分を売上げの方に転嫁出来ない。	
		日本料理店	大きな政策をしない限り、悪くならないと思うが、3か月で良くなると思わない。	
		タクシー運転手	現状から見て、直に変化（向上）するとは思えない。	
		タクシー運転手	会社関係、及び、個人の利用者も、現在より増える事無く現状維持が続くと思われる。	
		タクシー運転手	集まり事で飲食会があっても、会社からチケットをくれない。忙しいが、給料に跳ね返ってこない等良い話が聞かれない。	
		ドライブイン	経済の回復に楽観的な見方が難しい。	
		レジャー施設	鹿行地域における基幹産業である鉄鉱などの業種は回復していると思われるが、勤労者の所得の上昇までには、さらに時間を要すると思われる。	
		理・美容店	多分、この先ずっと景気が上向きになることはないんじゃないか？と思う。	
		理・美容店	レジャー費や物品購入費の抑制が目立ちます。あまり遠くに行かず、あまり高価なものも買わず、なるべくお金を使わない方法で生活を楽しむ。	
		クリーニング店	中元の時期であるが例年の事である。	
		住宅販売会社	大きな変化は生まれていないと思われる。	
		住宅販売会社	住まいの給付金、ローン控除の拡充などがあるが、住宅取得を後押しするほどの大きな助成金にはなっていないのが現状で、住宅の購買意欲の向上とまではなかなかいかない。	
		企業	農業関係者	消費税増税や世界情勢の影響で、今後、農業用資材の高騰や燃料費の高騰にも繋がりがねない。

変 わ ら な い	企業	運輸業（倉庫業）	貨物の動きに変化があれば回復すると思われるが、この状態が続くと思われるため、変わらないと思う。
		不動産業	建築資材等、一部値上がり等あるため、また、住宅の一部消費税前の駆け込み等のため、業者によって中だるみがあるではないか。
		サービス業	国内の各種需要が伸び悩み、消費行動、消費マインドの向上・改善が認められない。輸出を主体とした特定産業は好景気であるが、波及効果は限定的。消費マインドの向上傾向は不透明。
		火力発電所	親会社の景気が回復していないため。（親会社がお客様です。）
雇 用	人材派遣業	「変わらない」としましたがわかりません。ボーナスが増加していると新聞にありますが、消費税増税前の買い込み（高額商品を含む）でどれだけ夏以降に連動するかは不明。	
	学校就職関係者	大きな変化を感じないことから、変わらないと思われる。	
	就職支援センター	消費税の増税により、4月の小売店の売上は減少したが、5月の売上はほぼ例月並みに回復した様子である。しかしながら、ガソリン価格も高止まりしており、財布のひもは、以前より増して固く閉じていると思われ、現状から考えると、今後3か月先の景気が今月より良くなる要因は見当たらず、景気は変わらないと思う。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	コンビニエンスストア	エルニーニョの影響での梅雨の長期化、気温の低下があるときには、小売業としてはマイナス要因となる見込み。
		小売業（食品）	農家の米の価格が良ければ活気が付くのだが。
		観光型ホテル	3か月先までの予約状況を見ると、例年のその頃に比べると入りが良くない。
		タクシー運転手	一部大手企業では、給料アップ等がみられるが、全産業の9割の中小企業では、給料が上がった等の話は全く聞かない。逆に給料が下がっている等の話を聞くぐらいだ。故に先行の見通しも悪い。
		スーパー銭湯	消費税が上がった事で、全てではないが、一部値上げを実施。お客様の敏感な減少はあるのですが、外部への支払は全て（公共料金、重油…etc.）8%が乗ってくる。取る方全てに8%はかけられないのに、出る方には全て8%がかかってくる。
企 業	製造業（食料品）	消費税アップに伴い、購買力が減少。	
	製造業（食料品）	ベースアップ実施の企業が増えたとか、夏のボーナス支給額が増えるとかは、中小零細企業、個人営業者にはあまり関係なく厳しい状況は続いており、消費意欲が変わるような雰囲気ではないと思う。	
	製造業（化学工業）	値上げに向け、交渉を継続していくしかないが、状況は厳しい。	
	建設業	消費税8%なので、新築件数も少なくなるだろう。	
	金融業	大企業と比較して、競争力の低い中小零細企業の経営者及び従業員は、将来に不安を感じていると思う。円高による物価上昇や増税前の駆け込み需要の影響もあり、消費の伸び悩みが懸念され、景気はやや悪くなっていく傾向にあると思う。	
	保険業	油、電気料、保険料、税金等が少しずつ上がってきている。	
	内装工事業	消費税増税後、必要じゃないものは買わないよう、多くの人が考えているんじゃないでしょうか。食料品は買わずにいられないが、先日スーパーで他の人のカゴを覗くと特売品が見えました。	
悪	-	-	-

(4) 県南地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	タクシー運転手	10%への増税を控え、再び一時的な買いだめが流行ると思われる。
やや良くなっている	家計	スーパー	客数は100%を超えており、増税の影響で4月以降不調だった酒や、雑貨など回復傾向にある。
		コンビニエンスストア	増税による意識は、かなり薄まるタイミング。また、メディアでも景気が回復へ向かっているとの報道が多いため、世間もそう思い、財布のひもは緩むと予測。
		専門スーパー	消費税8%に慣れて、今よりは良くなると思う。
		和食食堂	消費税の影響も少しずつ薄れていると思う。
		タクシー運転手	夏休みに入って家族旅行でのタクシー利用者に期待したい。
		タクシー運転手	<b>企業業績の向上がうかがえる。ボーナスの季節でもあり、夏休みによる費用の流通が考えられる。</b>
		タクシー運転手	消費税8%が定着し、痛みがなくなると、若干ではあるが上向きになると思う。
		ボウリング場	<b>全体的には良くなるのですが、サービス業（レジャー）は3か月でなく半年・1年先になるのでは。</b>
	企業	建築設計事務所	昨年実施した物件の改築設計物件あり。
		製造業（飲料）	夏に向かい、時期的なこともあると思うが、人の動きがあると思う。
		製造業（家具・装備品）	小さな店がまた何軒か廃業しました。商店街の形態が崩れていきます。これからが復活の機会だと思っていますが、営業している店は、多少ですが元気が出てきたようです。
		製造業（窯業・土石製品）	年度予算も前年より公共事業費が増え、各企業の好決算を背景に民間の設備投資も増加することが見込まれる。
		製造業（非鉄金属）	賃金アップに加え、ボーナスの増加も期待でき、消費動向が改善するのではないかなと思う。
		建設業	9月は公共工事が出てきて、仕事が忙しくなるのは毎年のことである。しかし、民間工事の方も、現在見積り問い合わせが多くなってきているので、3か月後は景気が良くなると思う。
雇用	建設業	<b>受注残が増加傾向にある。当面マイナス要因は考えにくいと思うので、まだ良くなる要素大。なんといっても職人の不足を感じる。</b>	
	求人広告 求人開拓員	物流が伸びてきているということもそうだが、消費が伸びてきていると感じる。 訪問先の建設会社で、「作業員やダンプの運転手が足りないので、どうか紹介してください。」との声が増えている。去年の末頃からである。	
変わらない	家計	スーパー	景気上昇の判断材料が無いということと、梅雨が例年より長引くとの予報も出ているので、良くなるとは考えづらい。
		スーパー	一品単価、及び客単価が上がっているのに、生鮮の相場が崩れない限り好調は続くと思われる。
		スーパー	特に良くなる要因は見当たらない。
		スーパー	「父の日」など「ハレの日」にはお金を使う傾向はあるが、普段は必要最低限かつ単価の安い商品への消費に留まると見ている。
		コンビニエンスストア	継続した価値の追求が求められていると感じており、量・価格競争にはならない。
		農産物直売所	当分の間、このような状況が続くのでは。
		小売業（食品・酒類）	小規模店は、ずっと右肩下がりで、今後も売上げが上がることは考えにくい。お客様も、大型店へ行く流れが大きくなると思う。
		小売業（生花店）	不動産の割安感と景気の上向き基調により、不動産売買が増えていると思われるが、一般消費者が好感を持って動き出すまでには、起爆剤（きっかけ）が必要。
		ガソリンスタンド	この3か月で大きな環境変化はないと判断しました。
		洋食食堂	変わらないと思っても、それはだんだん悪くなっていくこと。経営者も年齢が高くなり、若い働き手がいないとパワーが落ちていく。少しずつ少しずつ。
		寿司店	店の様子は、常連さんだけで新しいお客が少ない。周りも消費税問題も落ち着いてきたようですが、市場もいつ行っても暇の一言。たまに週1回位混み合うのか？変わらないと思います。
		都市型ホテル	夏の営業では、ビアガーデンと納涼祭などがあるが、現状の予約状況（オンハンド）では、昨年とあまり変わらないところから、こちらも変わらないと思われる。
		都市型ホテル	近隣に新規オープンした式場があるため、予約は減少したが、一人単価は変わらないので変化はないように思われる。
		旅行代理店	消費税増税の影響もあり、個人個人が物品の購入などの消費に対して慎重な事からも、今後の景気もまだまだ厳しいと思います。
タクシー運転手	ここ半年間見ても、景気が良くなっているとは思えない。		
タクシー会社	先のことは、想像がつかない。		

変 わ ら な い	家計	ゴルフ場	消費税増税のせいか、コンペ等の単価交渉などで上乘せが厳しくなってきた。	
		ゴルフ場	これといって良くなる要因は見当たらない。消費税が上がって、それに見合う何か欲しいところだ。	
		パチンコ店	景気が良くなる理由が見当たらない。消費支出に期待が持てない。	
		理・美容店	消費税のこととか、テレビでの景気上昇とか、良いも悪いもありますが、プラスマイナスで変わりないと思います。	
		住宅販売会社	増税騒ぎも一段落し、市況も落ち着きを取り戻している頃。	
	企業	製造業（食料品）	当分、今のような状況が続くのではないか。	
		製造業（食料品）	売上げが良くなる要因が思い当たらない。	
		製造業（一般機械器具）	変わるような材料が見当たらないため。	
		建設業	6月に入り、いくらか景気の見通しが出てくるだろうと期待したいところですが、毎日多くの経営者と会っていても、楽しい・うまい情報が入ってきません。県内Aクラスの社長は、官公庁の物件も少ないし、受注の目途もたない。仕方ないので、遊んでもいられないからと、1町歩5反の資材置き場の三分の一を耕し、野菜作りを始めたようです。本業より疲れると零す。	
		建設業（設備工事業）	計画はあるようだが、現実的な話にはなっていない。	
		運輸業（倉庫業）	今年は梅雨が長く、冷夏となれば各地の農産物の収穫に影響が出る。今後のTPP、消費税アップの問題を考えると、消費マインドは落ちてくる可能性が大きい。	
		金融業	消費税増税の影響は少ないが、経済効果等に結びつくような話題もなく、現状と変わらず推移すると思われる。	
	雇用	学校就職関係者	当面現状のまま推移すると思う。	
	や や 悪 く な っ て い る	家計	家電販売店	梅雨が長引く予報がある。
			レジャー施設	競輪業界全体で売上げが落ち込んでいる中で、有名選手の長期欠場が重なり、さらなる売上減につながると思われる。
企業		農業関係者	米の販売環境の低迷により、先行きの不安があるため。	
		製造業（印刷業）	物価の上昇による、購買意欲の低下。	
不動産業		まだ買い控え、前倒し購入による影響が出ていると思う。しばらくは続くと思われ。減少分を補う為の営業科目の深掘り等メニューの拡大と営業努力によりカバーしている。		
雇用	人材派遣業	受注数は増加しているが、人材不足が続いている。景気が良くなっているかどうかはわからないが、求職者が職を選べるだけの求人数が増加してきたのかもしれない。		
悪	-	-	-	

## (5) 県西地域 【先行き】

(ー：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	スーパー	客数が徐々にアップしてますので、この調子で気を抜かず努力すれば、売上げはアップすると思います。
やや良くなっている	家計	スーパー	品単価が少し上がっており、高質な商品の動きが良くなってきた。
		コンビニエンスストア	購買意欲をかき立てることが出来れば、購入へと繋がる。そういった価値あるものを伝えることが、今後より必要。
		自動車販売店	6・7月と徐々に回復基調にあると思います。エコカーは依然人気があり、今後もエコカー中心に市場は回復すると思います。
		タクシー運転手	雨季に入る事や、盆関係の動きと共に工場誘致等の動きに期待。
		ゴルフ場	気象庁で冷夏予報が出ているので、ゴルフ場業界としては期待している。景気全般としては、新聞、ニュースを含め、マイナスイメージになるような報道も少ないので期待を含めた回答。
		理・美容店	駆け込み需要が一段落し、生活も慣れて、消費目的がはっきりしてくると思われる。
	企業	建築設計事務所	邸宅の提案依頼や、設備投資関連のコンサル依頼、また開発行為のスタートなどの事象があった。
		製造業（印刷・同関連業）	日経平均株価も15,000円台を回復し、アナリストによると、8月頃には16,000円～17,000円台に推移する予想が紙面を飾るが、円安の関係、ウクライナの政情安定とか、外因によって株価もどう動くかわからない。17,000円を超えるとデフレも終息し、アベノミクスの効果もあったと、日本の景気も上昇の一途をたどるでしょう。景気上昇を希望したいと思って。
		製造業（窯業・土石製品）	今現在が底だと思うので、注文は若干だけ増えるし、また現在の状況では会社が成り立ち得ないので、全員で「仕事のありがたさ」「お客様のありがたさ」を共有できた。仕事をいただける環境作りが少しずつ良くなるので、注文が増えると思います。
		製造業（金属製品）	現在は不透明感があるが、引合い件数は減ってはおらず、期待感も含めて良くなってくると考えられる（徐々に）。
		電気工事業	計画はボチボチ始めている。
	雇用	人材派遣業	10年ぶりに忙しくなっていますが、その後が心配です。
		求人広告	新規出店の人材確保、繁忙期対応の為の採用など、将来を見据えた計画の話が出ている。足元の景気は良くないものの、先を見据えた投資は活発になると思われる。
		公共職業安定所	全体的には変わりはないが、その中でも運輸の求人について増加している。仕事も車もあるが、人がいないために回らない状況。また、今までリストラにより中堅層を解雇し、人事構成面で高齢若年層となり、ちょっとした技術や経験が必要な仕事に対応できないとのこと。建設業は、東京オリンピック招致による需要があり、作業員よりも現場の仕切り（監督）が人手不足の状況である。
		学校就職関係者	求人説明会等への参加企業も例年より多く、消費税率の反動は落ち着き、景気は改善すると思う。
変わらない	家計	衣料品販売店	良くなる理由が思いつかない。
		農産物直売所	例年売上げが伸びない時期なので、特に天候の動向で大きく左右されそうである。
		専門スーパー	売上げ、客数、点数に大きな変化はない。
		和食食堂	今月と比べると、毎年この時期は客足はやや良くなると思うが、客単価や利益率は横ばいの傾向になるので変わらない。
		日本料理店	良くなる雰囲気がない。街も静か。
		飲食業	消費税増税の影響なのか、2～4月の前年度比で悪かったので、期待的判断です。
		和食レストラン	原材料の高騰の影響で、仕入れ原価も毎月値上がりしている状況であり、今後も景気が上向きになるような材料は感じられない。もうしばらく厳しい状況が続くのではと予想されます。
		都市型ホテル	昨年に比べ、ビアガーデンの問い合わせが少ないように感じています。
		ビジネスホテル	当面は今の状態が横ばいで続くと思われる。
		旅行代理店	悪くなる要因が無いだけであり、良くなる事も考えにくい。
		タクシー運転手	現在と同じに続くと思う。
		ドライブイン	増税の影響は薄らいでいると思うが、景気回復しているようには思えない（地方）。
		ドライブイン	インフレ傾向は定着しつつあり、物の値段は上昇してきているが、給与収入が追いついていかない状況は変わらないと思われる。
		ゴルフ場	予約の状況にて。
		レジャー施設	世間話の中では、後ろ向きな話題がまだまだ多い。
		理・美容店	お客様の来店日数はずっと変化なく、定期的でありあまり変わらない。
		住宅販売会社	増税前の駆け込み需要が落ち着き、消費傾向は様子見になっているだろう。
企業	農業関係者	今後も変わる見込みがあまりない。	

変わらない	企業	農業関係者	このまま順調に推移すると思う。
	製造業（食料品）	現在の調子そのまま継続されるかは微妙で、よく分からない部分が多い。	
	製造業（食料品）	この先しばらくは、売上がはっきり上昇するとは思わない。引合いはあるにはあるが、マンパワーの関係で、受けられないのが実状だ。	
	製造業（印刷・同関連業）	相変わらず安価受注が続いており、好転する兆しがない。	
	製造業（化学工業）	受注増～在庫調整の動きを繰り返し、大きな変化はないと思われる。	
	製造業（窯業・土石製品）	特に悪化の要素も見当たらないが、良くなる要素もない。	
	製造業（一般機械器具）	良くなるという話だが、悪い方になっていると思う。お菓子会社から注文があるので、何とかつないでいる。早く良い方向へ向かって欲しい。	
	製造業（電気機械器具）	長期的な受注展望の把握は難しい状況ではあるが、現時点では大きな人員体制の見直しは求められていない。	
	金融業	消費税増税による反動で、中小企業経営者からは先行き不透明、また、給与所得者からは所得の増加は感じられず、消費を控えるとの意見が多く、停滞ムードがしばらく続くと思われる。	
	サービス業（コンサルタント業）	やや良くなっているような気がしますが、あまり大きな変化は無いと思います。これからの3か月では、賞与の支給があり若干消費の効果を期待しております。	
雇用	求人開拓員	新規求人が少なく、派遣・請負が多い。	
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	消費税8%が少なからず影響していると思う。
	コンビニエンスストア	中小企業での給与所得が明らかな増加にならなければ、消費は停滞してしまう。現状、そこに対しての明確なプラス要素は見当たらず、現状からはマイナス方向に進むと思われます。	
	製茶販売	6月はいったん良くなったかのように見え、その後の3か月までにまた下降すると思える。	
	和食食堂	今の状況がそのまま続くとは思えない。	
	タクシー会社	希望的には、変わらないよう期待するが、タクシー利用客の減少がますます増加傾向にある。	
	タクシー運転手	現状の状態では、利用客は減少していく。	
	ゲームセンター	お客様の来店人数の減少傾向が続いており、回復する見込みがない。	
	企業	製造業（印刷・同関連業）	聞こえてくるのは、「賃上げ」「ボーナスの増加」はどこの話か、というパターン。反面、実感として種々の増税、値上げ、年金等の引き下げへの不満。景気は個人消費の拡大なしには右肩上がりにはなり得ないが、気分的要因もまた大きい。実感としての収入減。高級品の消費拡大のPRだけでは行き詰まり確実。
悪くなっている	家計	商店街代表者	洋品店です。夏は、学生服等の需要が少なく、6～9月は特に厳しいと思われます。消費税UPもそれを後押ししています。大型店やショッピングモール等の影響が非常に大きく、特に紳士服洋品は心配です。
	家電販売店	買い替え購入が基本的に多くなると思うが、価格競争が厳しさを増しそうなので良くなると思えない。	
	クリーニング店	夏のボーナスが上がっていなければ（よい方向へ変わらなければ）、出費を抑えると思われます。	
	企業	建設業	都会では景気は良いと思うが、地方では良くないと思う。



### Ⅲ 景気の判断コメント — 3 その他の意見

#### (1) 県北地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	少子高齢の影響か、20・30代の若者が来街しなくなった。安心して子供を生める国の施策に期待したい。
	スーパー	増税後、調味料関係の販売が下降しており、未だ止まらない状況。買い置きは徐々に無くなっているという気配は感じられるが、回復の見通しは立たない。現状、他商品で積み上がっているのが弊店の状況です。
	スーパー	去年から、自分の店は積極的に設備投資している。冷蔵庫、トイレ、陳列棚。
	スーパー	人手不足がじわじわと浸透してきている。テナントの営業時間短縮が見られる。
	衣料品販売店	消費税が5%から8%になったが、たかが3%とはいえ、値上げが大きいと感じる。
	小売業（弁当・惣菜店）	エルニーニョの発生があると思われ、農作物の出来に不安を感じる。
	小売業（燃料）	4月増税以降、販売意欲は低いままだと思う。
	小売業（水産物）	消費税が8%になり、日々の生活に響いている。買い物をするときに、考えながら買い物してしまうと聞くことがある。
	小売業（時計）	お金を使うことにあまり抵抗感が無いような気がします。
	レストラン	やはり8%の消費税は大きいのかな？今まで外食（昼など）していたお客様は減少している様子が大きい。定年されたお客様の外食が目立つようになった気がする。
	居酒屋	客の流れが変わった。
	スナック	色々なことで簡素化が見られるようになった。
	中国料理	今春は、異動になった方々が多いように思われます。人の動きが良い方向に動いてくれるといいと思います。
	食堂	仕事が無くてブラブラしている方が多いです。昔の客が食事も出来なくて、サテライトに一日中時間を潰している人が多数います。昔の客がいたらと、毎日おにぎりを30個持って見に行きます。開業の時、みんなに助けてもらったので恩返しです。何とか助けてあげてほしいです。60歳過ぎると仕事がないので、かわいそうです。
	観光型ホテル	以前にも増してお土産などの買い渋りが目立っているため、相変わらず財布のひもは固いのかと思う。
	タクシー運転手	賞与を貯蓄するという話をよく聞く。
	タクシー運転手	県北地域において、港湾事業に大手メーカーが参入するなど上向きな感じも多少あるが、もう少し公共事業等も必要かと思われます。
	タクシー運転手	私のマイカー用に利用しているガソリンスタンドでは、ガソリンがどんどん高騰し、今では1リットル＝160円位で給油しています。交通費の手当も非常に少ないので、家計が圧迫されます。タクシー料金の値上げも燃料代の高騰が一因です。他の生活必需品は代替のものでも何とか対処できますが、ガソリン等ははどうしようもありません。貧乏人は、今流行のハイブリッド車も買えないし、先行き非常に不安です。
	レジャー施設	市内の小売店に買物に行ったところ、従来は買物客が多かったが、少ない状況が続いている。店員に状況を尋ねたら、「4月以降は特に客が減った」とのこと。社会保障を良くするための税率引上げはやむを得ないと思うが、現在のところ、景気上向きにはマイナス要因となっている気がする。
	ゴルフ場	国・県・市共々、議会活動を通じ、ザ・ストップ人口減と雇用創出で、女性の働く場所、高齢者の就労問題が市況を動かしはじめている。夏期の観光事業を中心としてレジャー、スポーツが期待されている。
住宅販売会社	日製のペア実施の影響か、思ったほどの増税ショックは無かった。	
企業	林業関係者	材価・物価高騰までではないが、全体的に景気の上昇までに至っていない。
	製造業（電気機械器具）	公共関係のプラント用制御盤を製造しているが、受注値がかなり下落している。
	製造業（電気機械器具）	新規学卒者（特に理系）の採用が非常に困難な状況である。4月の段階で半数以上は内定を得ているようである。2016年3月卒の学生から採用活動のスタートが遅れるが、最近3年生の6月からインターンシップを受付することが主流となりつつある。採用活動とは別物とのことだが、青田買以外は何物でもない。この流れに乗らないと採用は難しくなるため、結局、採用活動は早期化、長期化しているように感じる。
	製造業（電気機械器具）	W杯も開催され、外出する機会の増える方が多くいるように感じられる。
	製造業（電気機械器具）	現状では、すぐく仕事が少なくで暇な会社は見当たらないが、そうかといって景気が良いとも言えない。体は忙しいが、売上げはそれほどでもない、といったところか。
	製造業（輸送用機械器具）	為替影響も含め、大手企業の業績が好調であることや、メディアのPRも功を奏して消費マインドが向上し、全般的に景気好転の印象が濃くなっている。
	製造業（精密機器）	技術的に難しいものが増えてきている。また、工程を短縮したり、形状を変えたり、原価低減案も多くなっている。それに対応できれば仕事は多くなると思う。全体的には良くなっていると思うが、為替と株が良いので、下がれば悪くなると思う。注意していなければいけないと思う。
	金融業	福島原発の保守等に関わっている業者は、引き続き安定した受注を有している。それ以外の多くの業種については、先行きの見通しが立たない状況が続いている。
	不動産業	食料品や日用品など、消費税増税分とは別に実質値上げされているものがあり、今後、消費者の家計を圧迫してしまうと感じる。
雇用	求人広告	建設業界は忙しいようだが、サービス業・小売業は増勢の影響もあり厳しい面もあるように思う。
	公共職業安定所	4月の消費税増税に伴い景気低迷が懸念されたが、総体的には、増税に伴う影響は感じられない。
	求人開拓員	求人数は増加しているようだが、マッチングが難しく失業者も多いので、上昇機運が見られない。

## (2) 県央地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	取引業者のほとんどは、経費削減に関しては依然として厳しく、徹底している。価格競争も激しい。デフレの解消には、まだまだ時間がかかるのではないのでしょうか。
	商店街代表者	震災後、南町2丁目商店街振興組合で閉店退会者が多く、11店舗が閉店、1店が退会しました。6月にも3店が閉店予定です。近年、通行量が激減し採算が合わなくなり、閉店する傾向があります。高齢経営者に後継者がいなかったり、借地の店舗が多いため地代が負担になったり、テナントの店舗賃料が負担になったり、店舗の老朽化で設備投資ができなかったり、中心地を抱える問題が必ず来ると予測はしていました。旧ダイエー（ミーモ）も解体中で、高層マンションが建設される予定です。また、その近くも5店が撤退し再開発が計画中です。私の隣の眼鏡店（バリミキ）が7か月閉店して暗かったが、5月24日「4℃BRIDAL」がオープンして隣店が明るくなりました。
	百貨店、総合スーパー	慎重にお買い物をしている方が多いが、中には高額品を購入する方（まったく金額を気にせず、欲しい物をその時購入）も見られる。
	スーパー	プラス1品購入が厳しい（必要以上のものは購入しない）。外税表記により一時価格が適正価格に近付いた部分もあったが、最近再度価格競争激化してきている。
	スーパー	増税前の買いだめ商品が家庭でなくなりつつあるようで、調味料等の動きが回復している。
	スーパー	総額表示だと思っていたら税抜価格だったため、レジで消費税分を含めた総額を請求された。①総額②税抜き③消費税額の表示は、一見親切だが紛らわしい。というご意見がありました。
	コンビニエンスストア	ワールドカップイヤーということもあり、日本代表の動向を気にしている人は多いと思います。試合時間の関係上、午前中の人の動きはかなり少なくなるのではないのでしょうか。
	コンビニエンスストア	価値を基準に商品を買うお客様が増えており、値段の安さだけでは売れなくなってきている。
	自動車販売店	当社の子会社のフォークリフトの販売は、県内130%以上で推移し、法人が元気になっている。また、そういった法人が数年分の仕事を確保しており、今後は明るい。
	農産物直売所	メロン祭り等、NHKや民放で放映があった後でも、昔（震災前）のように放映の翌週県外からの来場者は増えないのが続いている。
	レストラン	外食産業全体で、来客者数が少し減少していると感じる。
	レストラン	ファミリーでの利用が減少している。
	都市型ホテル	テレビ等で言われているより、消費税アップ後の消費は回復していない気がする。
	観光型ホテル	地方では所得が増えているとは思えないが、雰囲気的に明るくなってきている。
	旅行会社	消費税が上がったが給料は上がらず、生活は大変だ。また、税金が上がる前に買いだめた時の出費が多く、今もその支払いに追われている。
	タクシー運転手	お客様が次のように言っていました。景気が良くなっても、物価が上がるので我々の生活は苦しい。景気が悪くなっても、もろもろの税金が上がるので苦しい。どちらにしても苦しいとのこと。景気が良くなって、大企業が儲かって、その利益の一部でも我々のような低所得者にまわしてくれればと…。全く私も同感です。好き勝手なことを書いて申し訳ないです。
	タクシー運転手	消費税増税での景気の落ちこみは、さほどないと考えられる。
	タクシー会社	水戸の駅前通りでは、コンビニや飲食店の新規出店や新規開店が目につくような状況で、明らかに景気にプラス的な要素が増えてきているように感じる。
	タクシー会社	常連のお客様で、毎週夜の繁華街に出かけている方が月1回にしたらと言われました。先が見えていないので、少しでも遊覧費を減らして貯蓄に回すようにしたとの事ですが、これが現状だと思います。
	観光名所	一部上場である大手が、ペアや賞与の引き上げを検討している報道がされ、景気が回復してきていると錯覚されるが、身の回りでは賞与どころか昇給も厳しい状況にある。
	レジャー施設	4月から入場料などを増税分の値上げをしたが、入場料に関しては影響はみられない。しかし、お土産品や飲食に関しては、若干購入数や購入単価が下がっている傾向にある。
	ゴルフ場	茨城県内のお客様は減少傾向を示しているが、逆に、東京をはじめ神奈川、千葉など首都圏からのお客様が増加している。
	スパ・銭湯	レストラン・食堂に入っても、消費税の値上がりは統一されたように改訂されましたが、時が過ぎれば、各飲食店等は普段通りの客の入りの様に思われます。また、財布のなかには1円・5円玉が溢れるようになり、当館の売上金の中にほとんど無かった1円・5円玉が毎日のように見られます。今まで眠っていた1円・5円玉の流通が、今後の景気の動向を知っているような気がします。
	レジャー施設	ボートの新規購入者や現在所有している方で、大型船に買い替える方が多くいます。
	理・美容店	消費税8%は、当店のお客様には影響なかった様な気がします。
	理・美容店	世の中の人口が減ってきているのに、店舗は増えてきている。
	建築設計事務所	設計業界や建設業界が共に人材不足である。
住宅販売会社	多少なりとも明るい兆しが見えてきた。	
企業	製造業（一般機械器具）	赤塚駅近くに大きなパチンコ店オープン（マルハン）。大塚池近くに大きなお風呂オープン（極楽湯）。
	製造業（精密機械器具）	自社商品の受注・売上傾向が、ここ数年減少傾向にありましたが、4月の新年度に入り、やや横ばいから回復傾向の動きが見られます。大手企業の設備投資が積極的との報道がありますが、その影響と思われます。
	建設業	生活の場に閉塞感から抜け出そうとする動きを感じる。多様な前向き思考を感じるが、質素からちょっと良きものをと動きがある。事業者にも同様のものを感じる。
	運輸業（道路貨物運送業）	増税後の消費動向は決して良くないと思われる。

企業	金融業	郊外量販店に対抗するため、中心街の商店がまとまり、情報誌を発行するなど地域の活性化に努めているが、大工町再開発も落ち着き、人の流れに大きな影響を与えることが出来なかった。街のインタビューでは、今後、水戸京成百貨店周辺と水戸駅北口の開発に期待を寄せているとの声が多い。
	サービス業（広告業）	消費税増税分を、見積価格に転嫁しづらい。要求されているわけではなく、競合他社が転嫁しなければこちらもできない。これからもずっと苦しい。
	情報通信業（情報サービス業）	消費税アップの4月以降においても、ショッピング街への人の流れには、余り影響はないように感じる。商店からは、反動による売り上げ減が伝えられてくるが、今の様子からみて、すぐにでも回復するように思える。
	サービス業（コンサルタント業）	市街区域より、市街化調整区域の造成が増えている。
雇用	求人広告	物価が上がっている。
	公共職業安定所	都市部ほどではないが、一部業種において人手不足、採用困難の情報が窓口寄せられている。非正規労働者の賃金等労働条件の見直しを、社内で検討し始めている事業所も出ている。人手不足による在職中の労働条件悪化により、雇用のミスマッチがさらに拡大する状況にある。
	学校就業関係者	消費税の増税前に比べると、高額商品の購入する方の話を聞かなくなったように感じられる。
	求人開拓員	1,000円カット（理容店）等、今まで内税の店が外税になり税金の重さを知りました。県・国においては、貴重な税金を、有効に使用していただきたい。

(3) 鹿行地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	震災復旧関連の業種は、当分ミニバブル的要素があるが、それ以外の小売・サービス・飲食関係は、消費が伸び悩む現状である。
	スーパー	欠員が出て従業員を募集しても人が集まらない。
	スーパー	消費税アップ後は衣料品が下がっていたが、少しずつ回復基調にある。気温上昇に伴い、夜間の客数・売上げが上がってきた→その分前年クリアー出来る。
	コンビニエンスストア	価値ある商品・サービスであれば、増税後であっても、お客様の消費心理には全く影響がないと感じます。
	コンビニエンスストア	定期修理が例年より大規模です。朝・晩の品揃え、接客強化を通し、関連エリア周辺は例年以上の推移を示しています。
	家電販売店	消費税アップで、商品の値段にバラつきがみられる。3月に値上がりしたり、その後、安定していない部分を感じる。
	小売業（食品）	ガソリンや円安による輸入品の値上げも続くので、お客さんの買い渋りがあるようだ。
	精肉店	お客は景気が悪いと言いながら、消費する額は変わっていないような気がする。
	洋食食堂	パート・アルバイトの人材確保が難しくなっている。食材の値上げがまだ続いている。売価に転嫁出来ないの、利益幅に影響がある。4月より、商工会主催の“一店逸品フェア”に（昨年より）参加しているが、4月・5月と300食以上の成果があった。売価995円の商品だが、“売り方”で“売れる商品”は売れると実感した。
	日本料理店	全体的に数か月は落ち着いている感じです。どこが良いとか悪いとかの話が聞けていないので。
	タクシー運転手	当地域では、5～6月のコンビナート各企業の定修工事で、人の出入りも多く乗客数もあり（特に朝・夕にかけて、反面日中は客の減少が目立つ）。
	ドライブイン	消費税が8%の増税をしても、大きな落ち込みなど今のところ見られない。
	スーパー銭湯	高齢者を対象にしているため、「年金」受取時期は複数回入館してもらえらるが、奇数月になると、来館数に減少傾向が見られる。配送トラックに積まれている「荷物」が少ない。
	理・美容店	住宅や自動車などの大型な買い物は、少し減少していると感じます。お金をかけなくても楽しめる方法を、みなさん考えていると感じます。
	クリーニング店	近くのカーテン屋さん、3月は駆け込み需要で忙しかったが、4月からは暇になっている。増税前は忙しかったようです。
住宅販売会社	景気の底は脱した感がある。これからどれだけ盛り返していけるか、企業として正念場となる。	
住宅販売会社	正直な所、ここ最近では景気の上昇傾向の話もあまり耳にすることが少ないと感じる。	
企業	農業関係者	昨年度より、直売所の消費者の購買意欲が増しているように思われる。
	製造業（食料品）	日系比人が、愛知方面の自動車関連業界へ資金面で移動が見られるようになってきている。
	製造業（電気機械器具）	建築関連は好調のようで、それに付随する製造業もやはり好調のようです。ただ、その他の製造業では苦戦されている会社も多く見られ、パチンコ関連、自動車、家電等は厳しいようです。
	製造業（化学工業）	高い原燃材料の使用を削減すべく、更なる歩留まり良化に取り組んでいる。
	製造業（金属製品）	労働賃金が少しずつ上昇している。非製造業以外の職場人口が少ない（若年者志向が非製造へと向いている）。もう少しすると労働条件は逆転すると思う。
	建設業	建設業界は若年層の減少、高齢化による労働力の低下の解決策として、外国人実習生の見直し等が挙げられておりますが、国内の若い人に魅力ある仕事としてアピールする事が望ましいと思います。
	建設業	太平洋岸に住んでいる。津波の怖さと地震の液状化によって家が傾いている家が多いようです。台地の方へ引っ越し人が多少多くなっている。
	保険業	潮来市日の出地区で、水位を下げる工事（約220億円）、電柱の地中化工事（約50億円）が始まって、潮来市の建設業者が忙しい。
	不動産業	地震による災害のため、道路関係の工事があれほど色々な箇所で工事をしてたのが、補助金のため3月末での完成。完成したため、4月より嘘のように工事がなしとのこと。
	内装工事業	消費税増税後、便乗値上げをした商品を数多く見つけました。売る側からすれば、今まで利益のない我慢の商売をしていたと思います。3%の増の販売価格なら納得するけれど。一つの例ですが、増税前は内税1,000円で販売していた商品を1,080円で販売していました。
	サービス業	予算管理の厳格化、相見積り指導など、古くからの顧客の依頼の仕方もドライになっていっている。日本的商慣習が徐々に薄れてきていることを感じている。（個別案件の採算より、長期安定契約の重視が変化しつつある。明らかに改悪。）
火力発電所	原子力問題が解決を見ない限り、私ども電力業界の見通しは良くなりません。	
雇用	民間職業紹介業	求人企業からの応募数は増加しているが、求職者（登録者）が伸びておらず、マッチングがなかなか図れないのが現状である。
	公共職業安定所	引き続いていることだが、建築・土木施工管理の技術者（求職者）が少ない。
	学校就職関係者	主立った変化は感じられない。
	就職支援センター	鹿行地区はメロンの産地であり、5月、6月はメロンの出荷時期である。今年は豊作との話もあるので、メロンの生産農家や販売店では景気が良いと思われる。

(4) 県南地域

分野	業種・職種	その他の意見	
家計	スーパー	パート・アルバイトの募集をかけているが、全く入ってこない。景気が回復している表れである。	
	スーパー	TV放映のあった食品の「くるみ」「麦」の購買増が著しい。健康に関わる情報には敏感かつ金銭を厭わない傾向がある。	
	農産物直売所	私は、休み、又は暇な時は他店を見て回っていますが、人(客)は多いです。特にホームセンター、ショッピングセンター等は、土日はいっぱいです。最近、ペット(犬)を飼うつもりでペットショップに直々通っていますが、ペット産業はすごい勢いです。また、外食産業(一部)も景気は良いのではないのでしょうか。	
	小売業(食品・酒類)	郊外に関しては、(一部業種は除いて)景気が良くなっている、という感覚は全く感じられない。売上・客足も徐々に減ってきている。	
	小売業(生花店)	4月からの高速道路料金の値上げで、休・祝日の交通量が減少している感があり、ガソリンの高値安定感に、車の利用頻度も減る傾向にある。	
	ガソリンスタンド	恒常的な人員不足。アルバイトの採用が思うように進まない。	
	和食食堂	値上がりした商品(うなぎ等)もあるが、まとめて注文を受けることもある。確実性・信頼性にはお金をかけられるということだと思う。逆に考えれば、客単価を上げるための安価なものは数字が落ちる。	
	洋食食堂	少しでも売り上げを伸ばしたいので、定休日をなくして営業してしている蕎麦屋さんが2軒います。1年空いていたテナント(元は中国料理屋)が契約になり、今月からオープンしました。やはり、中国料理でオーナーは中国の方です。	
	都市型ホテル	県南ホテルエリアとしては、マンション建設やショッピングセンターリニューアル含め新規参入されることもあり、このエリアとしての景気は多少上向きであることに間違いはないと思われる。	
	タクシー運転手	土日ともなると、近所のショッピングモールはいつも満車です。昼食をとるのに並ばなければいけないのは辛いところ。	
	タクシー運転手	以前よりも、平日のゴルフ場利用客が増加しているように感じる。	
	タクシー会社	最近近くのスーパーで、30分間だけ週1回20%割引セールを行っている。まさしく戦争です。みんなは列をなして、シールを貼ってもらうために長い行列を作って並んでいます。レジもすぐく時間がかかり、30分くらいかかる状態です。安いチャンスを狙っている感じです。すごく凄まじい争いの様子です。私もその中の一人です。	
	ゴルフ場	お客様に、経済的に少し余裕があるのか、以前より賑やかになってきた。	
	ゴルフ場	天気に関しても、最近表現が変わってきた。何か不安を煽るような表現が多く、集客にも影響する。最近「大雷(おおかみなり)」という表現が使われた。	
	企業	パチンコ店	消費者の所得状況に、明るい兆しが見えない。
		ボウリング場	大企業が良いが為に全体的には良くなった数値になるのですが、小・零細・個人(=下請)は上向きになることへの期待感は薄いと思います。
理・美容店		消費税の上昇で物の値段が上がって、自分的にこれで消費が上がるとは思えないですね。それで景気も良くなるとは思えないのですが。	
住宅販売会社		大企業のベア実施が良い影響を与えてきているようだ。	
製造業(食料品)		大手メーカー等では、値上げや減量等が進んでいるようです。我々小企業でも、値上げの時期を考えなければならぬと思います。	
製造業(飲料)		時期的なこともあると思うが、ゴルフ場が混んでいる。	
製造業(印刷業)		各種商品の値上げラッシュを感じる。	
製造業(窯業・土石製品)		東北地区からの報告では報道されておりますが、人手不足、労務費の上昇、資材高及び不足で工事入札の不調、進捗の遅れがこれからも続き、悪影響が出てきております。	
製造業(窯業・土石製品)		遊休地の開発(大型店舗出店等)がみられる。	
製造業(非鉄金属)		受注順調であり、増産態勢。	
建設業		建設業の安定は続くものと考えていたが、ここへ来て、少し考え直す。農家は気候の変動、価格の不安定があり、商売の厳しさは判断できない。しかし、野菜作り(ビニールハウス)から販売テクニックは自信があるので、年間を通して建設業と野菜作りの2本立てを平行してやってみようと思う。ただし、家畜の飼食だけは自信がないのでやる気はありません。農業は面白い。	
建設業		今年の土浦の花火数券が、1マス19,000円から21,000円に値上げになった。当社もそれに関連した工事を請け負っているが、坪単価も同時に値上げしてくれたので、ありがたい。消費者にとっては値上げはありがたくないが、業者にとっては値上げは景気回復の一要素だと思う。	
建設業		最近雨が多くなり、工事の進行が鈍い。客単価は増加傾向だが、利益率は横ばいである。大型(中型)物件が活発に動いているようで、弊社へも依頼が増加している。	
運輸業(倉庫業)	全国イメージ調査47位を解消するため、NHK水戸のアピールは大きいと思っている。鉾田のメロン、茨城町の新品種レモン等、今後の活躍が面白い。		
金融業	税金未納による税務署等からの調査依頼が、依然として多い状況にある。		
不動産業	賃貸関係の影響よりも、建築関連の影響が大きい。大手と中小の格差が販売・求人採用等に出ている。全ての業種にてM&A等による大型の法人化の傾向があり、不動産業においても同じ様な傾向です。		
雇用	求人広告	新たなエリアへの進出や、新たな領域への事業拡大を考える企業が増えてきたように思える	
	学校就職関係者	休みは東京に人が集中し、道が人で溢れている状況で、全く不景気を感じさせないが、東京を離れるごとに人が減っていくのを目の当たりにすると、今後地方の消費経済はますます厳しい物になると感じる。県南地区は東京へのアクセスがしやすくなった分、消費も東京に流れているのを感じる。	
	求人開拓員	建設関係の求人が増えている。建設業が良くなっているのではないかと。外食産業の事務所のほうから求人を依頼してくる。紹介してほしいとのこと。	

## (5) 県西地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	趣味、遊び事には、比較的にお金を借しまない人が多いようです。週末の商店街(旧市街地)は、ますます閑散としています。高齢者の方々の拠り所としての場所が少なすぎます。
	商店街代表者	お店によって、商品の価格表示が内税外税方式で違う。当店のように小さな食品店は、本体490円と税込529円では、表示の仕方によってお客様が手を出す(買う)意識が違ってしまふ。行政で一本化してもらおうと良かったと思う。
	コンビニエンスストア	客単価は継続して低い状況。状況に応じた商売の仕方が必要。
	メガネ・時計販売店	1・2か月前よりは、お客様の買い控えが少なくなっている感じがします。
	製茶販売	景気が悪いと口にしてはいるけれど、高齢者は値段を気にせず買い物をしている方が多い様に見受けられる。健康食品・グッズなど、値段が高くても買っている。
	和食食堂	何が原因で景気が良くなってきたのか、これという物が見当たらず懐疑的になっています。勿論、このまま続く事を願ってはいますが…。
	日本料理店	私の地区は、茨城で人口減少率が高いので、その影響もあるのか。
	飲食業	お客様のお話で「6月以降に増税以上の値下がりがあるだろう、と予想している」と聞いたことがありました。商業・工業・土地建物、あらゆるジャンルを観察中です。
	都市型ホテル	若い方が、町の中にあまりいない様に思います。夜も人が動いていません。
	旅行代理店	消費税8%が4月から実施されたが、消費者は、しょうがない税金だから、と支払ってくださる。10%になったらどう変わるか。老人(65歳以上)の方々が消費(お金の使用)を控えている様子がわかる。年金が減額され、税が上がり、生活苦が続きそうだと嘆く人が多い。
	タクシー運転手	他社の乗務員も大変厳しいとの話が増えてきた。
	タクシー運転手	タクシーを利用するする人が増加している。
	ドライブイン	ガソリン価格の上昇・高値安定化が定着しつつあり、ドライバーの嘆き声をよく耳にします。
	ゴルフ場	身の回りの景気についての印象は、圏央道の開通工事が活発になっているように感じる。新築物件の工事など、全体的に活性化してきていると思う。
	ゲームセンター	近隣の複合レジャー施設の「ゲームコーナー」「リサイクルショップ」「ボウリングコーナー」が、6月中に閉店するようです。地域周辺の景気は、非常に厳しいようです。
	理・美容店	建築関連の職人、バイトする人が不足している、という話をよく耳にするようになった。
	理・美容店	思ったほど増税の影響なし。増税前は話に出たが、今は話題にもならない。
	クリーニング店	スーパーなどの料金価格表示が内税になってなくて、見づらいとの意見は良く聞きます(確かに見づらい)。
	建築設計事務所	我が建築業界でもそうだが、他業種でも相当な人材不足を肌で感じる。
	企業	農業関係者
製造業(食料品)		とにかく人が集まらない。色々手を打っているが、問い合わせもほとんどなくなった。また、退職者も多くなってきている。景気が上向いて、大手に流れているのではと思っている。
製造業(印刷・同関連業)		ユニクロが売値を上げる。良品計画も価格アップを計画している。大変なことだ。デフレ景気を先導してきた企業が方針を変えてきたのだ。緩やかに上昇する「インフレ」が始まった気がする。そんな中で、地方も中小零細企業も、ピンチをチャンスに変えることができるか!経営者も店主もしっかりしないとイケない!
製造業(印刷・同関連業)		価格低下が止まらない。需要減、経費節減が価格低下となって、再び顕在化してきたように思う。特にTV等でPRされる、賃上げ、消費好調との報道に違和感を訴える方が増えてきたように感じる。物価や電気代等の値上げと守りの生活が心配。
製造業(窯業・土石製品)		需要が未だ回復していない状況で価格競争があり、コスト増分(電気、燃料等)を売値に転嫁できない状況が続いている。
製造業(窯業・土石製品)		現在、私の自宅を大手リフォーム会社へお願いして、大規模に新築以上の工費をかけて全面改築しておるのですが、いろいろな工事業者が出入りして気付くのは、「マナーが良い」「挨拶ができる」「整理整頓がなされている」、これが20代前後の若い人達がやっていて感心します。やはり、大手大企業は社員教育に力を入れていますので、信用・信頼され受注につながっているのだと、毎日見ていると勉強になります。
製造業(金属製品)		デフレスパイラルは、一応の終局となったと思える。
金融業		中小企業経営者を中心に、本業以外に遊休不動産を活用し、太陽光事業を開始する方が増えている。
不動産業		消費税増税後も、売買の来客者数は変わらず堅調である。
サービス業(コンサルタント業)		県西の地では、太陽光発電のパネルの設置が非常に多く目立っております。これらが景気にどのように影響してくるかを注視したいと思っています。
雇用	人材派遣業	安定していない仕事が気になっています(求人数)。大企業だけが、景気が良さそうに見えます。
	求人広告	ここ数か月は、クライアントが忙しいとの理由で、打ち合わせがスムーズに出来ていなかった。ただ、直近は予定通り出来ている。クライアントから忙しいとの話が出なくなった。
	学校就職関係者	仕事量の増加傾向で人手不足により、電気工、溶接工など建設関係企業からの求人問い合わせが多い。